

# ODU

大阪歯科大学広報

# NEWS

No. 171  
July 2014

OSAKA  
DENTAL  
UNIVERSITY



From O.D.U to the WORLD

# Contents

## 02 Topics

- ・川添理事長・学長が文部科学省 歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議委員に就任
- ・川添理事長・学長が一般財団法人 歯科医療振興財団の理事長に就任
- ・川添理事長・学長が公益社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構の理事に再任

## 02 平成 26 年度 大学・大学院 入学式

02 学長訓辞 学 長 川添 堯彬

03 理事長式辞 理 事 長 川添 堯彬

04 平成 26 年度 専門学校入学式

04 学位・博士（歯学）授与報告

04 平成 26 年 春の褒章・叙勲受章者

## 05 行事報告

- ・平成 26 年度 歯科医師臨床研修 研修歯科医登院式
- ・平成 26 年度 病院医員辞令交付式
- ・平成 26 年度 第 5 学年登院式
- ・第 15 回学園都市ひらかた推進協議会
- ・平成 26 年度 解剖体慰霊祭
- ・牧野学舎にて地域の合同防災訓練開催
- ・大学院早期修了者の学位認証式開催
- ・平成 26 年度 父兄会・共済会総会
- ・第 27 回日本顎関節学会学術大会 ポスター発表優秀賞受賞
- ・平成 26 年度 オープンキャンパス

## 07 国際交流

- ・【学生短期海外研修】四川大学華西口腔医学院主催 サマーキャンプ
- ・【学生短期海外研修】上海交通大学口腔医学院
- ・【協定校学生受入】コロンビア大学歯学部
- ・【協定校学生受入】上海交通大学口腔医学院／南方医科大学口腔医学院／台北医学大学口腔医学院

08 平成 25 年度 事業報告

20 平成 25 年度 監事監査報告

21 平成 25 年度 決算報告

24 平成 26 年度 学術研究奨励助成金（大学院生）

24 人事

33 あとがき



## = Topics =

### 川添理事長・学長が文部科学省の「歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議」委員に就任

大学の歯学教育の改善・充実に関する専門的事項について調査研究を行うことを目的として設置されている文部科学省の協力者会議に、川添理事長・学長が委員として就任しました。任期は平成26年7月1日から平成28年3月31日までです。

### 川添理事長・学長が一般財団法人 歯科医療振興財団の理事長に就任

平成26年6月30日に開催された、一般財団法人 歯科医療振興財団の平成26年度第2回理事会において、同日付けで川添理事長・学長が理事長に選出されました。任期は平成27年の定時評議員会までです。

### 川添理事長・学長が公益社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構の理事に再任

優れた医療人育成のための、医療系大学教育におけるコア・カリキュラムの策定と、共用試験の充実と公益性向上のために設置された公益社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構の理事に、川添理事長・学長が再任されました。任期は平成26年6月5日から平成28年6月30日までです。

## 平成26年度 大学・大学院 入学式

平成26年度 大阪歯科大学・大学院 入学式が、平成26年4月4日(金)に執り行われました。国歌斉唱のあとの入学生点呼では、一人ひとりの元気な返事が講堂に響きました。また、学長訓辞、理事長式辞を拝聴する姿も初々しく、これから始まる6年間の学生生活へのエネルギーに満ち満ちていました。



## 学長訓辞

学長 川添 堯彬



今年の春の到来は、例年に比べて幾分早いようであります。すでに桜の花は方方で満開に近く、勉学の席へ早くおいでと、入学生の皆さんを一層祝福しているようであります。

本日、大学入学生、大学院入学生ともにこの日が新しい環境へ入るとき、社会に向けての決意のときであり、新たなスタート地点であります。先ほど来、点呼におきまして、呼ばれたときに「はい」という元気のよい声をした人は、今日の決意を立派に表明されたということで、その態度に敬意を表します。また、元気よい返事をした人が、今年は多いような気がいたします。

また、入学生のご父兄・保護者の方々、ご家族の方々にとりましても、期待と願いを込めた今日この始まりのときを胸に刻んでおられることと拝察いたします。

まず、大学に入学された128名と編入学者8名の諸君に申します。最近の風潮かもしれませんが、一部新入生の中には、入学しただけでこのまま時がたてば歯科医師になれるとのんびりしてしまう学生がおります。これは大きな間違いです。これからの長い学生生活では勉学及び履修に努め、進級して6年後の国家試験に合格しなければなりません。これはかなり厳しい道のりでもあります。しかし、全員がこの過程を越えてもらわなければなりません。そこで、私は、皆さんのモチベーションを高め、これを持続させるために、次の三つのステップをぜひ実行していただきたいと思っております。

一つ目は、まず将来の夢、または目標を持ってほしいということでもあります。

できるだけ大きな夢、目標が望ましいと思っております。

そして二つ目は、そのために必ず6年間で、編入学者の方は5年間ですけれども、歯科医師になってみせるのだという決意、決心を胸に刻むこと。

そして三つ目は、進級のための学習を第一優先として、ただただ学習に邁進してください。そうすれば全員が卒業し、国家試験にも合格して、それぞれの人生が大きく開けるでありましょうし、夢の実現にもずっと近づくことでありましょう。ぜひこの心構えで6年間を進んでほしいと願っています。

最近、医学系、あるいは歯学系の学生に特に求められていることとして、まず「生活習慣の確立」があります。6年間を無事に過ごすためには、まず朝きちんと起床して、朝ご飯を食べ、そこから始まる1日続けること。それが将来医療人として多くの患者さんからの信頼を得るもとだということを、日本全国の医科系の大学の先生方も異口同音に言っております。これはまたこの後、個別にそのことの意味を強調してまいります。

さて、大学院に入学された17名の皆さん、本日は誠にありがとうございます。皆さん方は、義務化された1年間の臨床研修を修了され、その上で難関な試験にも見事に合格された精鋭ぞろいであると言っても過言ではありません。また、ご父兄・保護者の皆様方におかれましても、ご子弟の晴れ姿を目の前にされ、その感慨もひとしおのことと拝察申し上げます。反面、これからの4年間、経済的にも大きな試練が続くことにもなり、その胸中は複雑な思いが去来していることとお察し申し上げます。

大学院生の皆さんは、既に歯学士の免許を取得しておられるわけでありすけれども、なお、その上の博士（歯学）の取得を目指されているわけでもあります。しかし、その道のりは平坦ではなく、厳しいことも覚悟しておかなければなりません。それだけに、その志が全うできたときの喜びは、筆舌に尽くせないものとなると思っております。そして、2度や3度の失敗にもくじけることなく努力を重ねて

いけば、必ずや皆さん方が期待した2倍にも3倍にも相当する満足感や夢の達成感を味わえることと思っております。

そしてまた、1人でも多くの皆さんに、これからは海外留学を志してほしいと願っています。大学は、全力を挙げてそのような有為の青年歯科医師、博士を支援し、帰国後におきましても支援を続ける制度を設けております。大いに羽ばたいていただきたいと願っています。

最後に、大学入学生・大学院入学生の両方の皆さん方へのはなむけの言葉として、医学教育者の父とたたえられ、世界中の多くの医学生に大きな影響を及ぼした、ウィリアム・オスラー教授（1849年7月12日～1919年12月29日）がよく引用された言葉を贈ります。「夜明けの勧告に耳を傾けよう。今日という日に目を向けよう。これこそ生命、生命の中に命がある。その短い行程の中には、あなたの存在の真理と現実の全てが含まれる」

これをもって、学長から皆さん方への訓辞といたします。

## 理事長式辞

理事長 川添 堯彬



本日、大学並びに大学院に入学されたそれぞれ136名と17名の方々、両方の皆さんに式辞を送りたいと思っております。

本学は、1911年（明治44年）に創立されました。二昨年11月には、創立100周年記念の行事を執り行いました。これまでに一万数千の卒業生を輩出しており、長い伝統に支えられた大学であります。皆さん方も、今日から我々とともに諸先輩の築いてきた大学愛、母校愛、そして同窓としての絆を受け継いでいくわけでございます。

本学の創設者、藤原市太郎先生は、明

治 44 年 12 月 12 日にある思いを抱いてこの学校を創立されました。その当時、日露戦争が終結間もないころで、まだ世の中は騒然とし、社会は経済的にも緊縮状態であったと思います。このような時代に、藤原市太郎先生は、この大学を現在の大阪市福島区野田 4 丁目に創立されたわけでありまして。そこには現在、立派な記念碑が建てられており、藤原市太郎先生の創立の思いが刻まれております。「学校経営事業は営利に非ず、博愛公益のために努力するものなること」と刻まれています。この言葉が、初代理事長 古川賢治先生に申し伝えられ、ぜひとも受け継いでいってほしいとの願いをもってバトンを渡されてきました。大変尊い、また貴重で崇高な本学の建学の精神であります。

そして、この 100 周年の記念事業の中で発見したのは、どれほど時が経ってもこれほど輝き、またこれほど有益で、私たち学ぶ者の心を勇気づけてくれる言葉はないのではないか、ということでもあります。この言葉は、欧米先進国やアジア諸国のみならず、全世界のどの国に行っても通用する、誇るべきスピリットではないかと思えます。

マザー・テレサの象徴ともなっております博愛の精神を思い出すまでもなく、これは本学に脈々と続いていることを実感するわけでありまして。どうか皆さんも、この精神を少しでも実践し、究極の目標として胸に刻み、また後輩にも引き

継いでいっていただきたいと思っております。

この言葉は、まさに学部学生諸君にとりましても、大学院生諸氏にとりましても、時や国をこえて通じるものであると思えます。これほど崇高で誇れる言葉はほかにありましようか。私たちは、これをすぐには達成できないかもしれませんが、少しでもその方向へ進む志を持ちたいと願っているわけでありまして。本学の建学の精神を大切に守り続けたいと、今、私自身も強く肝に銘じているところであります。皆さん方もどうかお忘れのないように進んでいっていただきたいと思えます。

以上、理事長の式辞といたします。

## || 平成 26 年度 専門学校入学式

平成 26 年 4 月 4 日、歯科技工士・歯科衛生士専門学校の入學式が行われました。当日はたくさんの来賓にご出席いただき、歯科技工士学科 10 名、歯科技工士専攻科 4 名、歯科衛生士学科 45 名が、ういういしく大阪歯科大学の門をくぐりました。

歯科技工士専門学校の末瀬一彦校長は、新入生に強く望むことについて以下のように述べられました。

- ・身構え、どんな変化に対しても柔軟に動けること
  - ・気構え、気持ちを集中し、不撓不屈の闘志をもつこと
  - ・心構え、集中力とともに平常心を忘れることなく敬意を払うこと
- また、歯科衛生士学校の小出武校長からは、以下の 3 点をエールとともに送りました。
- ・学問に王道なし、自分の頭・手・足で学習の過程を乗り越えること
  - ・あらゆることに興味をもち、活発で好奇心あふれ貪欲であること
  - ・思いやりをもって患者さんに接し、信頼していただける歯科衛生士になること

期待が寄せられる新入生の表情は明るく、桜とともに華やかな新年度のはじまりとなりました。



## || 学位・博士（歯学）授与報告

邢 鶴琳 甲第 740 号 平成 26 年 6 月 25 日

Osteogenic activity of titanium surfaces with nanonetwork structures (ナノスケールでのネットワーク構造を付与した純チタン金属表面上における骨形成活性について)

中山 文博 乙第 1587 号 平成 26 年 6 月 25 日

Changes in the oral environment after placement of removable dentures in low caries risk patients (カリエスリスクの低い患者への可撤性床義歯装着後における口腔内環境の変化)

## || 平成 26 年春の褒章・叙勲受章者

### 褒章

大学 22 回 黒住 正三 岡山県 藍綬褒章

### 叙勲

専門 30 回 桐山 浩 岐阜県 旭日双光章

専門 32 回 岩田 淳次郎 高知県 瑞宝双光章

大学 5 回 新田 賢 和歌山県 瑞宝双光章

大学 6 回 甲斐 寿男 宮崎県 瑞宝双光章

大学 11 回 藤田 忠司 兵庫県 瑞宝双光章

大学 11 回 堀口 外茂雄 石川県 瑞宝双光章

大学 16 回 岡本 学 大阪府 旭日双光章

## = 行事報告 =

4/1(火)

10:00

### 附属病院 平成 26 年度 歯科医師臨床研修 研修歯科医登院式

川添堯彬理事長・学長から、全体の合格率が約6割と狭き門となった第107回歯科医師国家試験に合格した90名の研修歯科医にお祝いの言葉が贈られました。ご臨席の各診療科科长の紹介につづき、覚道健治病院長からの訓辞では、今後は学生の延長ではなく、社会人として責任のある行動と積極的な研鑽が求められました。



4/1(火)

11:00

### 附属病院 平成 26 年度 病院医員辞令交付式

副病院長、各診療科科长が臨席され、覚道健治病院長より64名の病院医員に対して、辞令を交付しました。



4/3(木)

9:00

### 附属病院 平成 26 年度 第 5 学年登院式

川添堯彬学長よりご挨拶をいただき、覚道健治病院長より臨床実習生の心構え等について述べられました。第5学年の105名は、心新たに天満橋学舎において、歯科医学生の知識をもとに臨床を体験し、一層理解を深め学業の集大成を行うこととなります。



5/9(金)

15:00

### 地域連携 第 15 回学園都市ひらかた推進協議会

枚方市には、歯学、医学、薬学、看護学、外国語、経営情報学、工学など専門分野に秀でた6つの大学(大阪国際大学・関西医科大学・関西外国語大学・大阪工業大学・大阪歯科大学・摂南大学)がキャンパスを有し、個性豊かな教育・研究活動を行っています。特色ある大学の活力あふれる学生の存在は、「まちの財産」であると考え、大学・市民・行政が連携して、各大学の専門的な知識・情報、学生の活力を、市が行う様々な取り組みやまちづくりに活かすために、平成11年度に6大学と枚方市により「学園都市ひらかた推進協議会」が設立されました。そして、毎年一回、竹内 脩市長と6大学の理事長・学長が集い、協議会を開催しています。平成26年度は大阪歯科大学が当番校となり開催されました。

協議会では、市と各大学との更なる協力関係強化のための新たな取り組みについて、委員間で活発な意見

交換が行われ、大学と市民、企業等との交流や連携の機会の拡大について具体的な地域貢献活動の推進に繋がっていくことが確認されました。

また、従来からの協議会主催事業である、「ひらかた市民大学」「こども大学探検隊」などの生涯学習講座を開催するほか「観菊の調べ」の実施や、「産学公連携フォーラム」への参画についての確認がなされました。



5/16(金)

14:00

### 大学行事 平成 26 年度 解剖体慰霊祭

曇り時々晴れ間の見える、この時期としては過ごし易い天候の中、ご遺族、ご来賓、黄菊会会員及び教職員、第2・3学年の学生、専門学校生の約500名が参列し、

歯科医学教育のためご遺体を献体賜りました皆様の御霊に対しご冥福をお祈りいたしました。

慰霊祭は、四天王寺御坊の読経と参列者全員による

ご焼香によりご冥福をお祈りすると共に、解剖学講座 諏訪文彦教授の祭文、川添堯彬理事長・学長の挨拶により、献体賜りました皆様の篤志と、それをご同意いただいたご遺族への感謝の気持ちをお伝えし、質の高い歯科医師の養成を实践してまいりますとの慰霊の詞が述べられました。

また、学生を代表し3年生の森楓さんから解剖実

習を通じて得た精神面での成長と、献体賜った皆様の篤志に応えるためにも、より良い歯科医師を目指し精進することを誓った感謝の言葉が手向けられました。

最後に、献体賜りました皆様と、そのご遺族並びに黄菊会会員の皆様に向けて、学生全員による感謝の一礼を以て解剖体慰霊祭は終了いたしました。

6/1(日)

### 地域連携 牧野学舎にて地域の合同防災訓練開催

10:00

大阪歯科大学牧野学舎は、枚方市で災害時の第一次避難所に指定されており、6月1日(日)には、実際に避難所運営にあたる牧野5校区(殿二・牧野・招提・西牧野・平野)の地域の方々が自主防災のため、枚方市職員の方も参加し、防災訓練を実施しました。

施設見学(枚方市防災備品や発電機)、枚方市担当者による防災講演と続き、最後に対策本部・総務班・被災者管理班等各班に分かれ、避難所運営訓練がロールプレイング形式で行われました。



6/25(水)

### 大学行事 大学院早期修了者の学位認証式開催

13:00

大学院早期修了者の学位認証式が執り行われ、大学院生の邢鶴琳さんが、外国人留学生として初の卒業生となりました。邢さんは平成23年4月に大学院に入学後、日々研究活動に励み、今年3月に優れた研究業績を修められました。認証式には中国からご両親も駆けつけ、研究科科长、指導教授など関係者一同と留学生の見守るなか、学長から学位記が授与されました。

引き続きの特別優秀論文賞の表彰式では、学長からお祝いと激励の言葉が述べられ、邢鶴琳さんの今後の活躍をお祈りしました。



6/28(土)

### 大学行事 平成26年度父兄会・共済会総会

13:00

総会には約300名の父母が参加され、初めに新旧父兄会幹事長、川添理事長・学長の挨拶、学内報告、学業評価方法他CBT、OSCE、卒後研修の解説が行われ、引き続き議事に移り、父兄会・共済会の新役員、平成25年度父兄会・共済会の決算並びに平成26年度予

算が報告され承認されました。

総会終了後、各学年の講義室において学年別個人懇談会が開催され学年指導教授・助言教員等と学業面、生活面について熱心に懇談されました。

7/19(土)

### 研究活動 第27回日本顎関節学会学術大会ポスター発表優秀賞受賞

欠損歯列補綴咬合学講座大学院4年原弓加里さんと口腔外科学第二講座非常勤講師の森悠衣さんが、第27回日本顎関節学会学術大会のポスター発表優秀賞を受賞しました。同賞は、学術大会で行われたポスター発表の中から特に優秀であったポスターの発表者に与えられるものです。

原弓加里さんは「重度のブラキシズムによる著しい咬耗を有する患者に筋突起切除術を施行し咬合再建を行った1症例」というテーマで、森悠衣さんは「顎関節滑膜軟骨腫症の早期診断におけるMR画像の有

用性」というテーマで発表しました。

なお、表彰については、本年7月19日から20日の会期で福岡市の九州大学において開催された「第27回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会」において行われました。



## 6/1(日) 入試関連 平成26年度オープンキャンパス

7/21(祝)  
11:00

平成26年度第1回(6/21)、第2回(7/21)のオープンキャンパスは、参加者数が延べ221名(うち受験生等104名)を数え、前年を大幅に上回る来場者の方にご参加いただきました。特に第2回では、173名(うち受験生等79名)の方がご参加くださり、にぎやかなオープンキャンパスになりました。当日のプログラムは、本学の入学試験概要説明、在学生による学生生活の説明、学食体験、学内施設見学、実習体験、個別相談会等を実施いたしました。

今後の開催としては、第3回を8月24日(日)に、第4回を11月1日(土)[学園祭期間中]に予定しており、8月1日(金)には初の試みとして「個別受験相談会および病院見学会」を実施いたします。



## 国際交流

### 学生短期海外研修 四川大学華西口腔医学院主催 サマーキャンプ 2014.6.28～7.11

四川大学華西口腔医学院が国際交流の一環として、大学をより詳しく知ってもらうために、2012年から毎年、中国各地の大学並びに各国の提携校から歯科学学生を招待し、講習(歯内療法)並びに実習(ファントム実習)を中心に大学施設、附属病院施設の見学を実施しています。

今回は、本学のほかに日本歯科大学、東北大学歯学部、アムステルダム大学(オランダ)が参加し、華西口腔医学院他、中国歯科大学と交流を深めました。

本学から参加した5年生の学生2名は、研修終盤に行われた大学対抗の技能コンテストで3位の栄冠を得ました。

帰国後、参加学生から、中国人学生との交流や親睦を通して日本との教育の違



いを感じたり、中国の歴史や文化に触れることができ、日本では得ることができない体験ができたと報告があり、サマー

キャンプへの参加が貴重な学びの機会になったようです。

### 学生短期海外研修 上海交通大学口腔医学院 2014.7.19～25

学生は研修プログラムの特別講義を受講し、上海交通大学口腔医学院学生と共に臨床実習に参加しました。

帰国後の報告会において参加した2名の学生は、日本では体験できない様々なことを吸収することができたと、今後の日本での勉強にも意欲を表明了。





## 協定校学生受入 コロンビア大学歯学部 2014.4.23 ~ 28

研修では、諏訪副学長との懇談に始まり、楠葉学舎内の施設見学や附属病院の見学を行い、英語での特別講義を実施しました。一般開業医診療所の見学として江原歯科医院を訪問しました。

国際交流部主催のウェルカムパーティーでは本学学生も参加し、互いに親交を深めました。



## 協定校学生受入 上海交通大学口腔医学院／南方医科大学口腔医学院／台北医学大学口腔医学院 2014.7.28 ~ 8.1

上海交通大学口腔医学院から学生5名、南方医科大学口腔医学院から学生5名、台北医学大学口腔医学院から学生4名が本学を訪れました。

小正副学長との懇談や楠葉学舎、附属病院の施設を見学し、特別講義を受講しました。一般開業医診療所の見学と

して佐古歯科医院、河村歯科医院並びにABO 歯科クリニックを訪問しました。

国際交流部主催のウェルカムパーティーでは本学学生も参加し、互いに交流を深め、つながりを強めました。



## || 平成 25 年度 事業報告

### はじめに

学校法人大阪歯科大学は、教育基本法及び学校教育法に則り、歯科医学に関する学術及び応用を教授し、併せて人格を陶冶し国家社会のために有用な人材の養成を目的としている。

本法人は、この目的を達成するため、大阪歯科大学歯学部、大阪歯科大学大学院歯学研究科、大阪歯科大学歯科技工士専門学校、大阪歯科大学歯科衛生士専門学校を設置し、日夜、教育・研究・診療活動に邁進してきた。

平成25年度事業計画としては、

- I. 教学（学部教育）の改革
  - ・入試倍率
  - ・第1学年～第6学年の改革  
(新カリキュラム2年目の改革)
  - ・新しい評価・試験の導入（出席管理、合否基準の改正等）
- II. 大学院力の量・質的増強
- III. 教員人材育成力の改革
- IV. 附属病院の改革
- V. 歯科技工士・歯科衛生士専門学校の改革

を掲げ、建学の精神である「博愛」と「公益」を基調にし、各種事業計画を着実に実行した。

平成25年度は、「創立100周年記念館」が完成し、いよいよ第5、6学年の新たな天満橋学舎の教育拠点として、その使用が始まった。このことにより附属病院での臨床教育が一層充実し、歯科医師国家試験合格率のアップに繋がった。また、と

りわけ本年は、国際学術交流の活発な年回りであり、特にコロンビア大学との連携が成功裡に展開したことである。同大学歯学部長ストラー教授の特別講演を皮切りに、CEプログラムでは内外から多くの参加者があり研修の実りを上げた。さらに海外協定校の学生受入れであるが、3校（南方医科大学口腔医学院、台北医学大学口腔医学院、シドニー大学歯学部）の学生が本学を訪問した。

一方、附属病院の財務改善については、本法人理事会のもと、「附属病院経営改善委員会」が始動し、その第一弾として土曜開院を実施することが決まり、平成25年5月から開院となった。

このように教育・研究・診療活動の展開により、さらなる100年に向けての基盤が着実にできあがりつつあり、「グローバル大学」としての本学を構築していくために全教職員の力（りよく）を尽くしていく次第である。

### 本学の沿革

- |                |                                     |
|----------------|-------------------------------------|
| 明治44年(1911)12月 | 大阪歯科医学校が設立認可された。                    |
| 明治45年(1912)1月  | 大阪歯科医学校開校(1月14日創立記念日)               |
| 大正6年(1917)9月   | 大阪歯科医学専門学校が設立認可された。                 |
| 昭和22年(1947)6月  | 大学令による旧制大阪歯科大学が設立認可された。(6月18日昇格記念日) |
| 昭和27年(1952)2月  | 学校教育法による新制大阪歯科大学が設立認可された。           |
| 昭和36年(1961)4月  | 大学院歯学研究科博士課程設置                      |
| 昭和39年(1964)4月  | 大阪歯科大学歯科技工士専門学校設置                   |

法人組織としては、大正6年9月に財団法人大阪歯科大学歯科専門学校を設立した。昭和22年2月に財団法人大阪歯科大学、昭和26年(1951)3月に私立学校法による組織変更により学校法人大阪歯科大学となった。

平成9年(1997)4月楠葉学舎へ大学機能の移転を完了、天満橋学舎に新附属病院本館を建設し、牧野学舎と合わせ3キャンパスを持つ歯科医学総合学園として新体制をスタートさせた。

平成23年(2011)11月11日、国内・海外から多数の来賓を迎え盛大に創立100周年記念式典を挙行了した。

創立100周年記念出版物としては、次の4点を刊行した。

『大阪歯科大学のあゆみ・博愛と公益を目指して』

(平成23年10月)

『大阪歯科大学創立100周年記念の栞(しおり)』

(平成24年10月)

『大阪歯科大学100年史』 (平成24年12月)

『大阪歯科大学大学院50年史』(平成24年12月)

平成24年(2012)4月 創立100周年記念館起工式を挙行

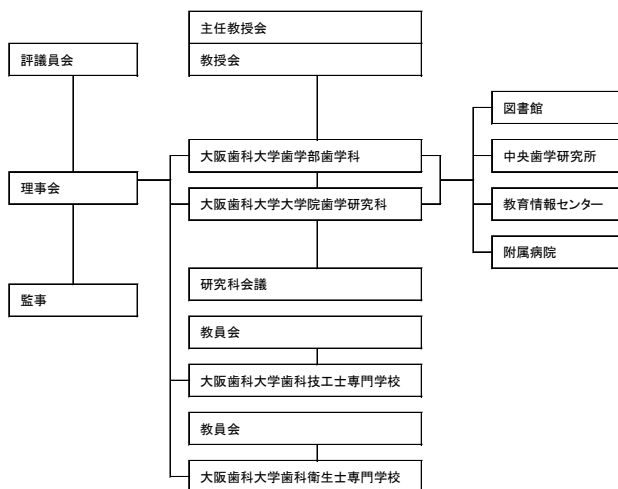
平成25年(2013)3月 創立100周年記念館竣工

平成25年(2013)5月 附属病院(矯正歯科・小児歯科)において土曜診療開始

同年10月11日、コロンビア大学歯学部長のクリスチャン・ストラー教授が記念講演を行った。

同年10月12日～13日 コロンビアCEプログラム・第3回ニューヨーク最新歯科治療－インプラント・審美歯科・歯周外科－研修会が行われた。

## 組織



## 平成25年度事業報告

平成25年度の取り組み内容について各項目ごとに、その概要を記載する。

- I. 教学(学部教育)の改革
- II. 大学院力の量・質的増強
- III. 教員人材育成力の改革
- IV. 附属病院の改革
- V. 歯科技工士・歯科衛生士専門学校の改革

### I. 教学(学部教育)の改革

#### 1. 歯学部入試倍率増加への取り組み

新入生確保のためオープンキャンパスは、平成25年度は5月、6月、7月、8月、11月の計5回開催され、延べ参加人数は310名であり過去最多の参加であった。実施したプログラムは、入試概要説明、在学生による学生生活の紹介、実習体験などであり、毎回参加者の満足度は高かった。

また、入試広報の充実を図り、本学教員による高校訪問、大学祭期間中に受験生に対する入試説明会や高校生向け進学ガイダンス「夢ナビライブ」での出前講義など本学の魅力を打ち出した企画を行った。

さらに、関連としてFMひらかたの番組である「街角Bird View」に本学学生(第4学年4名)が出演し、キャンパスライフ、本学の行っている諸行事について紹介した。

入学者選抜方法は、推薦入学試験(公募制・指定校制)、一般入学試験(前期・後期)であり、学力試験のほかに受験生全員に小論文と面接を課し、きめ細かい選抜体制で臨んでいる。また、平成25年度から入学検定料を4万円から2万円に引き下げ、受験生の経済的負担の軽減を図った。

以上の取り組みの結果、平成25年度実施の入学試験では、募集人員128名に対する入学者数は128名であり過不足無く順調に確保した。平成23年度から開始した編入学制度については、徐々に志願者が増加し、平成25年度は第2学年に10名が編入となった。

平成27年度から大学入試センター試験の導入を決定し、優れた受験生のさらなる確保に努めるものである。

#### 2. 第107回歯科医師国家試験結果

新卒者は94名受験し、合格者は71名で合格率75.5%であった。(新卒者の私立歯科大学・歯学部の合格率は68.5%)既卒者を含めると158名が受験し、合格者は100名であり合格率は63.3%であった。(既卒者を含めた私立歯科大学・歯学部の合格率は58.6%)

全国では、3,200名が受験し、2,025名が合格(全体

平均合格率は 63.3%) であった。国公私の新卒合格者は、1,642 人で合格率は 73.3% で、本学は 2.2 ポイント上回った。

第 6 学年の学力アップに向けては、教育アドバイザー、特別アドバイザー、ティーチング・アシスタント (TA) による徹底した個人指導や早朝テスト、本学指定の模擬試験受験などの取り組みを行った成果が現われたと考える。今後もこのような地道な取り組みを推進していくものである。

### 3. 進行するカリキュラム改革

平成 23 年度に教育課程の編成・実施方針 (カリキュラムポリシー) を制定し、建学の精神である「博愛・公益」、学生中心主義に基づいて、患者さんへの思いやりと温かな心をもった歯科医師の育成を目指した取り組みを行った。第 1、2 学年は新カリキュラム (カリキュラム 2012)、第 3 学年以上はカリキュラム 2000 により授業を行った。

#### ○低学年次学力

第 1 学年の初年次教育については、英語、数学、物理学、化学、生物学について基礎学力試験を全員に課し、学力向上を図るリメディアル教育を実施した。

またアーリーエクスポージャーとして、早期臨床体験学習及び社会福祉体験学習を行い、歯科医師として心得おくべき態度の修得を図っている。また、推薦入学者、編入入学者には、新年度に備えた入学前教育を行い、スムーズな教育ができるよう配慮した。

第 2 学年では、第 3 学年以降の学習にも重要となる基礎系歯科医学科目及び歯科英語を配置しており、歯科医師としての必要な総合的知識、技能、態度を修得させている。

#### ○C B T 時学力

全国 29 校ある全ての歯科大学・歯学部が参加している共用試験歯学系 CBT、OSCE については、第 4 学年末に実施されるが、これは第 5 学年次の臨床実習と、第 6 学年に控えている歯科医師国家試験受験の学力を担保する重要な関門である。

そこで本学では、平成 25 年度から各学年の試験合格基準を改正し、特に第 4 学年の合格基準を従来の 65% 以上合格から、70% 以上合格とした。歯学系 CBT、OSCE の受験できる者は、もちろん第 4 学年に配当されている必要な全てのユニットの単位修得者であることは言うまでもない。

第 4 学年当初には、学年指導教授によるガイダンスで合格基準の変更を行った旨の説明を行い、保護者に対しては学長名による合格基準変更の通知を行い理解と協力を要請した。

学生には教務部長、指導教授、教育アドバイザー及び助言教員による個別指導と模擬試験の実施などきめ細かい学習支援体制を敷き、成績の向上に努めた。

#### ○第 5 学年・第 6 学年の教育

創立 100 周年記念館の完成に伴い、高学年における天満橋学舎での一貫教育が可能となった。

第 5 学年における臨床実習の成績評価の厳格化 (臨床実習修了時試験)、年間 5 回にわたる進級試験 (75 点以上合格) など学生の学力向上とモチベーションを高めるための措置を講じた。

第 6 学年においては、歯科医師国家試験への対応として、本学指定の模擬試験の導入、教育アドバイザーによる少人数クラスの設置、特別アドバイザー、ティーチング・アシスタント (TA) の配置による徹底した個別指導による学習支援体制を整えた。

#### ○科目等履修生制度の創設

本学学則に定められた資格を有する歯科技工士専門学校、歯科衛生士専門学校等の卒業者に門戸を広げるため科目等履修生制度を新設した。(平成 26 年度から運用開始)

#### ○認証評価への取り組み

##### ・大学基準協会認証評価

本学は平成 19 年度に大学基準協会において認証評価を受審し、協会の定める「大学基準」に適合しているとの評価を得たところである。今回その評価の 1 サイクル (概ね 7 年) 目にあたり、平成 26 年度の認証評価の受審を決定し、平成 25 年度の重要事項として点検・評価報告書、基礎データの作成を進めてきた。そして、平成 26 年 3 月に、教育、研究、社会貢献などの状況を点検・評価した点検・評価報告書、基礎データ等の資料一式を大学基準協会に提出した。

認証評価制度の目的は、大学が自己点検・評価により「質の向上」に取り組み、社会に対してこれを発信することで「質を保証」することである。

今後も本事業報告書で述べてきた教育体制を含め本学のもつ全ての活動の不断の改善と改革を継続していくものである。

##### ・歯学教育認証評価トライアル

本学が、文部科学省・平成 24 年度「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成」事業の一つ「医学・歯学教育認証制度等の実施」において、東京医科歯科大学申請の「歯学教育認証制度等の実施に関する調査研究」の連携大学に採択されたことは前年度事業報告で述べた。

平成 25 年度には、本学は九州歯科大学とともにそのトライアルを受けることとなった。現在は教育内容を中心とした自己点検・評価書の作成を進めているところでありほぼ完成しつつある。

#### ○新設された歯科医学教育部門

歯学教育モデル・コア・カリキュラムに対応して、平成

25年10月に歯科法医学室（助教1名を配置）、平成26年1月に歯科審美学室（教授1名を配置）を開設し、学生教育を新たに担うこととなった。

#### ○学生生活指導

学生には、小冊子「学生生活ハンドブック」を配付するとともに、在学生の態度規範向上に関して、本学教員が、学生登学時に楠葉学舎正門で挨拶を行う取り組みを行った。また、欠席・遅刻が頻繁になると学業成績の低下につながるという観点から、学年指導教授、助言教員を通じて徹底した個別指導を実施した。

薬物乱用防止講演会については、平成25年6月に大阪府警薬物対策課から講師（小川浩一警部）を招いて、第1学年を対象に開催され、教職員を含む約140名が出席した。

学生部セミナー（学生部委員会主催・FD委員会共催）を、平成25年12月に「広汎性発達障害の理解に向けて」をテーマに関西福祉大学 櫻井秀雄教授を講師に招いて開催した。

#### ○学習機会の拡大・充実

本学図書館では、学習機会の拡大充実のため、開館時間の延長を継続している。なお、大学ランキング2015年版（週刊朝日進学MOOK）学生一人当たりの図書貸出冊数は13.5冊で、昨年度に引き続き私立歯科大学・歯学部中Aランクに位置している。

## II. 大学院力の量・質的増強

1. 大学院生の入学倍増計画
2. 大学院教員の増強
3. 募集定員の拡大、社会人院生の拡大
4. 外国人院生・受入れの奨励
5. 修士課程（衛生士、技工士）の増設

平成25年度は25名の学生が入学した。新たに口腔インプラント専攻科を設置し、大学院准教授を置き、大学院生の指導を開始した。

入学倍増計画の一環として、歯科基礎系・歯科臨床系専攻の一本化に向けても認可申請に向けて検討を進めた。

修士課程の設置については、大学院修士課程設置準備委員会が設置され、鋭意検討を行っており、平成26年度申請に向けて準備を進めているところである。なお、歯科技工士・歯科衛生士専門学校の卒業生も平成26年4月に大学学部で新設される科目等履修生制度を利用し、学士課程修了と同等の資格を持つことにより、大学院修士課程へ進むコースを歩むことも可能である。

また大学院カリキュラムポリシー及びディプロマポリシーを新たに制定した。

## III. 教員人材育成力の改革等について

#### ○教育人材育成力

本学の教員は、本学の建学の精神である「博愛」と「公益」を順守し、本学の発展に真に寄与する高潔な人格と識見及び私立大学の教員としての自覚を有し、教育、研究、臨床に情熱をもつ者で、高度の教育・研究能力及び業績、専門学会並びに社会的活動などにおける実績を有していなければならない。

任用されての後の教員の資質の向上については、FD委員会が積極的に企画立案を行い、FD研修会を精力的に実施した。研修会では外部講師として、8月期のFDに東京歯科大学教務部長・河田英司教授を招聘した。

また平成21年度から本格実施されている教員評価については、平成25年4月に「大阪歯科大学教員評価実施規程」が施行された。教員評価は教育活動、研究活動、臨床活動及び学内・社会活動の各区分ごとに教員評価委員会によって審査されている。

#### 【平成25年度FDセミナー一覧】

第1回	「平成25年度歯学系CBT問題公募要領と問題作成のポイント」 開催：4/18（木）17:10 100周年記念館 大講義室 講師：本学教授 西川泰央／池尾隆／松本尚之 参加：125名
第2回	「我が国における歯学教育認証評価の動向」 開催：5/16（木）17:10 100周年記念館 大講義室 講師：本学教授 中嶋正博 参加：129名
第3回	「東京歯科大学の15年」 開催：8/29（木）17:10 100周年記念館 大講義室 講師：東京歯科大学 教務部長 河田英司 教授 参加：132名
第4回	「カリキュラムプランニングのためのワークショップ」 開催：8/30（金）・31（土）宿泊型 コスモスクエア 国際交流センター 講師：東京歯科大学 教務部長 河田英司 教授／FD委員 参加：32名
第5回	「問題作成に関するワークショップ」 開催：2/15（土）9:00 楠葉学舎 講師：FD委員 参加：41名

#### ○国際交流

特に本年は、教員の研究活動の活性化と学生の資質向上に繋がった1年であった。本年10月、アメリカ・コロンビア大学と本学との提携によるコロンビアCEプログラムが大規模に行われ、教員の研究活動が大いに刺激を受けた。

さらに、本学の学生に関しても海外の提携歯科大学との交流により、国際的視野が広がり、歯科医療人としての人格形成に役立った。

本学教員の海外での共同研究あるいは研究発表に関しては、42名に対して助成が行われているが、そのほかに中国5大学との共同研究では、本学への受入として上海交通大学口腔医学院から2名が来学、一方本学からは北京大学口腔医学院へ3名の教員を派遣した。

海外協定校との学生交流については、台北医学大学から学生が9名、南方医科大学から学生8名と教員1名が、シドニー大学から学生7名が本学へ来学し、本学講座・室の講演、附属病院各診療科の見学などの日程で活発に交流を深めた。

また、本学からは、学生・教員合わせて23名を派遣した。

- ・北京大学口腔医学院  
学生5名（第2学年2名、第3学年1名、第4学年2名）  
引率教員1名（歯科保存学講座）
- ・シドニー大学歯学部  
学生6名（第3学年5名、第4学年1名）引率教員1名（化学教室）
- ・コロンビア大学歯学部  
学生8名（第5学年）引率教員2名（有歯補綴咬合学講座、英語教室）

○コロンビア大学・クリスチャン・ストラー歯学部長特別講演並びにコロンビアCEプログラム第3回ニューヨーク最新歯科治療 - インプラント・審美歯科・歯周外科 - 研修会の開催

平成17年、平成24年に開催した「コロンビア大学インプラントセミナー」に続く研修事業として、Osaka Dental University/Columbia University College of Dental Medicine Continuing Education Program の第3回目が平成25年10月11日から10月14日まで本学創立100周年記念館及び楠葉学舎で開催された。

【コロンビア大学 ストラー歯学部長特別講演会】

日時：平成25年10月11日（金）16:00～16:45  
場所：創立100周年記念館4階大講義室  
参加：160名

【コロンビアCEプログラム第3回ニューヨーク最新歯科治療 - インプラント・審美歯科・歯周外科 - 研修会】

《One Day Lecture コース》

日時：平成25年10月12日（土）9:30～16:45  
場所：創立100周年記念館4階大講義室  
参加：205名

《Advanced コース》

日時：平成25年10月13日（日）・14日（月）9:00～16:30  
場所：楠葉学舎3号館1階大学院講義室  
同2号館4階第8実習室  
参加：40名

○臨床ゲノム学会への協賛

平成25年11月23日（土・祝日）、第3回臨床ゲノム医療学会大阪大会（会場・大阪大学）が開催され、この学会に本学が協賛し、多数の本学教員が参加した他、「歯周病の概念：過去、現在、未来」と題して本学の田中昭男教授が講演を行った。

この学会への参加を通じて、今後本学がゲノムに関する研究を推進していく方向性を示したことで、本学の研究力の一層の発展に寄与することが期待されている。

○臨床研究に関する利益相反関係規程の制定

本学における教育研究の活性化に伴い、臨床研究に関する利益相反問題に対処するため、平成25年4月に臨床研究利益相反検討委員会規程を制定した。

○教育施設整備各種補助金・助成金関係

【平成25年度における私立大学等経常費補助金】

4億110万8千円で、そのうち特別補助は2,826万3千円  
特別補助の項目は、次のとおりである。

- ・大学等の国際交流の基盤整備への支援（海外派遣、大学院入試等）
- ・大学院における研究の充実（女性研究者支援）
- ・研究施設運営支援（中央歯学研究所）
- ・学生の経済的支援体制等の充実

【平成25年度私立大学等研究設備整備費等補助金（私立大学等研究設備等整備費）】

歯科診療チェアユニット及びファントム 18台  
1,662万7千円

【平成25年度科学研究費補助金（文部科学省）】

基盤研究（C）	35件
若手研究（B）	16件
研究活動スタート支援	2件
合計	53件

総額8,242万円（6,340万円（間接経費1,902万円））

○教育研究等の情報公開

本学教員の研究業績については、毎年度刊行する『教育研究論文目録』の他、本学のウェブサイトで公開され閲覧できるようになっている。また、大学院博士課程の学位論文についても、学位規則の改正に伴い本学ホームページに公開されている。

○地域との交流

・第21回大阪歯科大学公開講座

本年度も市民を対象とした公開講座を開催した。「最新医療を学ぶ」をメインテーマに、創立100周年記念館で平成25年9月7日、14日、楠葉学舎で平成26年2月22日、3月1日に開催し、延べ810名の市民が参加して好

評であった。2名の講師のうち1名は、外部講師として菱川良夫氏（メディボリスがん粒子線治療研究センター長）を迎え行われた。

【天満橋講座】100周年記念館 大講義室

9/7 (土)	「闘わないがん治療－粒子線治療－」 講師：メディボリスがん粒子線治療研究センター長 菱川良夫氏 参加：209名
9/14 (土)	「自分の細胞から組織が甦る－再生治療－」 講師：本学口腔インプラント科 馬場俊輔 教授 参加：172名

【枚方講座】楠葉学舎講堂

2/22 (土)	「闘わないがん治療－粒子線治療－」 講師：メディボリスがん粒子線治療研究センター長 菱川良夫氏 参加：217名
3/1 (土)	「自分の細胞から組織が甦る－再生治療－」 講師：本学口腔インプラント科 馬場俊輔 教授 参加：212名

・ 歯科用語集の刊行

平成26年3月に『患者さんのための歯科用語集』（本学公開講座委員会編）を刊行し、本学公開講座の受講者へ無料配布することになっている。

・ 学園都市ひらかた推進協議会の事業への参画

1) 子ども大学探検隊

平成25年度は、本学と関西外国語大学が実施校となつて行われた。本学の大学祭期間中の11月3日（日・祝日）枚方市内の小学生34名が本学楠葉学舎を訪問し、本学学生が歯に関する講義や体験実習を担当した。

2) ひらかた市民大学への参加

市民への医療に関する情報提供を目的にした「ひらかた市民大学」に本学が教員を派遣した。なお、平成25年度は、本学の他に5大学（大阪国際大学、関西医科大学、関西外国語大学、大阪工業大学、摂南大学）でも開催された。

<p>テーマ：「これで安心インプラント治療」 開催：11月16日（土）楠葉学舎 大学院講義室 講師：本学口腔インプラント科 馬場俊輔 教授 参加：45名</p>
--

IV. 附属病院の改革

1. 収支改善による健全経営戦略
2. 先進医療の態勢整備
3. 病院運営貢献者への顕彰・報奨
4. B/C考慮の支出、経費の見直し
5. 各部署の収支改善策を提案・実行

医療収入については、附属病院経営改善委員会がデータ分析を進め、改善への方向性を示し、これを受けた各診療科における努力により、徐々にではあるが増加している。

平成25年度の初診患者数は、2万5,289人、一日平均104.93人で対前年度比3.52%増であった。

また、外来・入院延べ患者数は、26万5,486人であり、主な地域別内訳は大阪府23万2,254人、兵庫県1万4,174人、奈良県9,419人、京都府6,257人、和歌山県1,148人であり、その他滋賀県、三重県、東京都、北海道、沖縄県などである。

平成25年5月11日から始まった土曜開院については、初診・再診合わせた年間延べ患者数は、1,501人を数えている。

○先進医療の推進

先進医療とは、新しい医療技術の出現・患者ニーズの多様化等に対応するために、健康保険の診療で認められている一般の医療の水準を超えた最新の先進技術として、厚生労働大臣から承認された医療行為であるが、当院では、「歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリットレジンによる歯冠補綴」が平成24年6月1日付で、「有床義歯補綴治療における総合的咬合・咀嚼機能検査」が平成25年1月1日付でそれぞれ厚生労働省の承認を受け、実施している。

○歯科医師の派遣

以前から実施している、社会福祉法人阪神福祉事業団センター診療所、日本放送協会（大阪放送局）への派遣、白浜アドベンチャーワールドの動物歯科検診を行った。また、本学附属病院に隣接する国家公務員共済組合連合会大手前病院への訪問歯科診療が継続実施されている。

○歯科医師臨床研修

修了者は、プログラムS（単独型）32名、プログラムC（複合型）84名の合計116名であった。研修歯科医受入施設は、44施設であった。臨床研修費等補助金は、前年度に比べ1,316万円増の1億2,172万円であった。第9回大阪歯科大学附属病院歯科医師臨床研修指導歯科医講習会を平成26年1月に開催、一般参加者を含む27名が受講した。また、指導歯科医の資質向上のための講習会を、管理型及び協力型臨床研修施設の指導歯科医を対象に、平成26年1月、2月に開催した。

○病診連携講演会（懇談会）

病診連携、病病連携の推進を目的として開催している病診

連携講演会（懇談会）は平成 25 年度で 11 回目を数え、平成 26 年 2 月に開催された。

なお、平成 25 年度に医療機関から紹介いただいた患者数は 9,153 人に上っており、紹介率は 36.2% となった。

#### ○地域医療連携について

従来から大阪府等地域の歯科医院、病院との連携を深めている。また、かねてより本学附属病院と隣接する大手前病院とは、医療連携の推進、情報交換を行っている。

大手前病院と連携して近畿厚生局に届け出た施設基準「感染防止対策加算 2」が平成 25 年 4 月付で受理され、入院患者について保険の算定を受けている。算定要件に則して大手前病院との院内感染防止に関する所定のカンファレンスを定期的に開催し、院内感染防止の徹底に努めている。

また、平成 25 年 4 月から大手前病院地域医療支援病院運営委員会に本学附属病院副院長が委員として参画し、密接な地域医療連携を行っている。

関西医科大学（天満橋総合クリニック）とは従来から特殊検査により提携を行っている。

#### ○医療安全講習会、院内感染対策講習会等

医療安全、院内感染防止等に関する取り組みは、昨年度に引き続き講習会が開催され、多数の教職員が参加した。

- 「医療安全講習会」
- 「院内感染対策講習会」
- 「医薬品安全管理講習会」
- 「医療機器安全管理講習会」

#### ○「医療事故防止のための相互チェック」

国公立大学歯学部附属病院が隔年で実施している。3 校でグループを構成し、相互に病院を訪問し、医療安全、院内感染防止等に関しチェックを行い、改善に努める。今回、本学は九州大学病院、岩手医科大学附属病院とグループを組み、平成 25 年 12 月から 26 年 1 月にかけて相互に訪問し、チェックを行った。

#### ○医療機器の更新について

眼科において、レーザー走査型眼底検査装置（1,785 万円）、口腔外科（中央手術室）において電気メス Force Triad エネルギープラットフォーム（252 万円）、歯科麻酔科においてドレーグルメディカル麻酔器（299 万 2,500 円）の更新が行われた。

## V. 両専門学校の改革

歯科技工士専門学校は、教育課程を一部改編し、「義歯専攻コース」、「CAD/CAM 専攻コース」、「インプラント専攻コース」の 3 コースを設け（平成 24 年度）特色ある医療専門職教育を打ち出し、優れた歯科技工士を養成した。

平成 26 年度に創立 50 周年となる歴史と伝統を継承すべく、優秀な学生確保の取り組みを進めた。

歯科衛生士専門学校は、3 年制の充実したカリキュラムにより確実に歯科衛生士国家試験に合格できるようになっている。また、就職希望者の就職率は、100% を確保しており、高齢社会に対応できる多くの人材を輩出している。

本学歯学部は平成 26 年 4 月から、科目等履修生制度が設けられることから歯科技工士・歯科衛生士両専門学校の卒業生が、専門科目を履修し単位認定を受け学士課程修了と同等の学力があると認められれば、現在、大学院で設置認可に向けて検討中の大学院修士課程への進学も可能となる。

### ----- 附属資料 -----

#### 1. 平成 25 年度学生数 ( )は女子 (平成 25 年 5 月 1 日現在)

【大学】		【歯科技工士専門学校】	
第 1 学年	140 (46)	1 年	15 (5)
第 2 学年	141 (54)	2 年	16 (3)
第 3 学年	145 (61)		31 (8)
第 4 学年	129 (60)		
第 5 学年	110 (44)	専攻科 1 年	11 (1)
第 6 学年	160 (49)	専攻科 2 年	4 (0)
	825 (314)		15 (1)

【大学院】		【歯科衛生士専門学校】	
第 1 学年	25 (9)	1 年	51 (51)
第 2 学年	19 (11)	2 年	49 (49)
第 3 学年	30 (13)	3 年	54 (54)
第 4 学年	24 (12)		154 (154)
	98 (45)		

#### 2. 第 107 回歯科医師国家試験の結果 平成 26 年 3 月 18 日合格発表

		本学	全国
総数	受験者数	158	3,200
	合格者数	100	2,025
	合格率 (%)	63.29	63.28
新卒	受験者数	94	2,241
	合格者数	71	1,642
	合格率 (%)	75.53	73.27
既卒	受験者数	64	959
	合格者数	29	383
	合格率 (%)	45.31	39.93

#### 3. 平成 26 年度入学試験状況

		志願者	合格者	入学者
大学	推薦	41	35	128
	一般 (前期)	190	85	
	一般 (後期)	67	9	
	編入 (前期)	7	5	8
	編入 (後期)	4	4	

		志願者	合格者	入学者
大学院	一般（一次）	9	6	17
	一般（二次）	14	12	
	一般（三次）	1	1	
	外国人留学生特別選抜	0	0	
歯科技工士 専門学校	歯科技工士学科	10	10	10
	専攻科	4	4	4
歯科衛生士 専門学校		61	49	45

#### 4. 平成 24 年度会計実査

平成 25 年 4 月 4 日（木）

#### 5. 大学・大学院入学式

平成 25 年 4 月 5 日（金）午前 10 時（於：楠葉学舎）

#### 6. 平成 25 年度大学新入生研修

平成 25 年 4 月 8 日（月）午前 9 時（於：牧野学舎）

平成 25 年 4 月 9 日（火）午前 9 時（於：楠葉学舎）

#### 7. 平成 25 年度 FD

- ・第 1 回「平成 25 年度歯学系 CBT 問題公募要領と問題作成のポイント」

平成 25 年 4 月 18 日（木）午後 5 時 10 分

（於：100 周年記念館）125 名出席

- ・第 2 回「我が国における歯学教育認証評価の動向」

平成 25 年 5 月 16 日（木）午後 5 時 10 分

（於：100 周年記念館）129 名出席

- ・第 3 回「東京歯科大学の 15 年」

平成 25 年 8 月 29 日（木）午後 5 時 10 分～

午後 6 時 30 分（於：100 周年記念館）132 名出席

- ・第 4 回「第 7 回カリキュラムプランニングのためのワークショップ開催について」

平成 25 年 8 月 30 日（金）、31 日（土）

（於：ホテルコスモスクエア国際交流センター）

32 名出席

- ・第 5 回「問題作成に関するワークショップ」

平成 26 年 2 月 15 日（土）午前 9 時～午後 5 時

（於：楠葉学舎）41 名出席

#### 8. 体育総会

平成 25 年 5 月 11 日（土）午後 2 時（於：楠葉学舎）

#### 9. 平成 24 年度監事監査

平成 25 年 5 月 13 日、14 日（於：楠葉学舎）

#### 10. 解剖体慰霊祭

平成 25 年 5 月 24 日（金）午後 2 時（於：四天王寺）

#### 11. オープンキャンパス（於：楠葉学舎）

- ・第 1 回 平成 25 年 5 月 26 日（日）

- 午前 11 時～午後 4 時 38 名参加
- ・第 2 回 平成 25 年 6 月 30 日（日）  
午前 11 時～午後 4 時 10 名参加
- ・第 3 回 平成 25 年 7 月 28 日（日）  
午前 11 時～午後 4 時 120 名参加
- ・第 4 回 平成 25 年 8 月 25 日（日）  
午前 10 時～午後 4 時 83 名参加
- ・第 5 回 平成 25 年 11 月 2 日（土）  
午前 10 時～午後 12 時 10 分 59 名参加

#### 12. 平成 25 年度薬物乱用防止講演会

平成 25 年 6 月 19 日（火）午前 9 時（於：楠葉学舎）

講 師：大阪府警察本部刑事部薬物対策課 小川 浩一 警部

対象者：第 1 学年、約 140 名出席（教職員含む）

#### 13. 大学父兄会・共済会総会

平成 25 年 6 月 29 日（土）午後 1 時（於：楠葉学舎）

父兄出席者数 278 名

#### 14. 第 45 回全日本歯科学生総合体育大会（当番校：日本大学歯学部）

平成 25 年 8 月 1 日（木）～12 日（月）総合第 7 位

#### 15. 第 21 回公開講座

メインテーマ 「最新医療を学ぶ」

〈天満橋講座〉 平成 25 年 9 月 7 日（土）、14 日（土）

受講者延べ 381 名（於：100 周年記念館）

〈枚方講座〉 平成 26 年 2 月 22 日（土）、3 月 1 日（土）

受講者延べ 429 名（於：楠葉学舎）

（時間はいずれも午前 10 時～正午）

#### 16. 第 6 学年父兄懇談会

平成 25 年 9 月 28 日（土）午後 1 時（於：楠葉学舎）

父兄出席者数 60 名

#### 17. 平成 25 年度大学祭

テーマ：Challenge

- ・体育祭 平成 25 年 10 月 27 日（日）（於：牧野学舎）

- ・文化祭 平成 25 年 11 月 2 日（土）、3 日（日）

（於：楠葉学舎）

#### 18. 平成 25 年度地方父兄会（京滋地区）

平成 25 年 11 月 4 日（月）午後 1 時（於：メルパルク京都）

父兄出席者数 38 名

#### 19. 実験動物慰霊祭

平成 25 年 11 月 22 日（金）午後 1 時 30 分（於：牧野学舎）

#### 20. 平成 25 年度自衛消防訓練

楠葉学舎 平成 25 年 11 月 29 日（金）

牧野学舎 平成 25 年 12 月 3 日（火）



天満橋学舎 平成 25 年 12 月 13 日 (金)

**21. 平成 25 年度学生部セミナー**

「広汎性発達障害の理解にむけて」

講師：関西福祉科学大学 櫻井秀雄 教授

平成 25 年 12 月 10 日 (火) 午後 4 時 (於：楠葉学舎)

61 名出席

**22. 平成 25 年度全学教職員忘年慰労会**

平成 25 年 12 月 27 日 (於：天満橋学舎)

**23. 平成 26 年新年互礼会**

平成 26 年 1 月 6 日 (於：楠葉学舎)

**24. 平成 25 年度定年退職記念講演会 (於：100 周年記念館)**

・武田 主任教授 平成 26 年 1 月 18 日 (土) 午前 10 時

・小谷 主任教授 平成 26 年 1 月 18 日 (土) 午後 10 時 45 分

・林 主任教授 平成 26 年 1 月 18 日 (土) 午前 11 時 30 分

**25. 平成 25 年度解剖体遺骨返還式**

平成 26 年 2 月 3 日 (月) 午後 2 時 (於：楠葉学舎)

**26. 平成 25 年度共用試験歯学系 CBT 並びに OSCE**

・CBT 平成 26 年 2 月 28 日 (金) 午前 9 時 30 分

(於：楠葉学舎)

・OSCE 平成 26 年 3 月 16 日 (日) 午前 9 時 30 分

(於：天満橋学舎)

**27. 平成 25 年度卒業式並びに大学院学位認証式**

平成 26 年 3 月 7 日 (金) 午前 10 時 (於：楠葉学舎)

**28. メンタルヘルス・セルフケアに関する講演**

平成 26 年 3 月 14 日 (金) 午後 4 時 (於：楠葉学舎)

講師：中央労働災害防止協会 大阪労働衛生総合センター

平岡正弘 健康快適推進室長

**29. 平成 25 年度歯科医師臨床研修修了証授与式**

平成 26 年 3 月 25 日 (火) 午後 2 時 30 分 (於：天満橋学舎)

**30. 歯科法医学室及び歯科審美学室の新設**

**31. 学習サポーター制度の導入**

**32. 大学院カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーの制定**

(11 月 27 日)

【カリキュラムポリシー】

歯学研究の目的である口腔科学の進歩と社会貢献しうる有為な研究者を養成するために、次のカリキュラム編成の方針に基づき人材育成を図っている。

1. 先進的な口腔科学に関する研究を遂行できる能力を確立すること

2. 全身との関わりの中で口腔科学研究を遂行できる医療人を育成すること

3. 高い教養と学際的視点を涵養すること

4. 国際社会に貢献できる研究能力を獲得すること

【ディプロマポリシー】

歯学研究科に必要な年限在学して所定の単位を修得し、学位論文の審査および最終試験に合格した次の者に博士 (歯学) の学位を授与する。

1. 口腔科学研究を担う高度の専門知識と技術を修得して発展できること

2. 口腔科学に根ざした高度の医療技術を修得して応用できること

3. 研究者あるいは医療人として高い教養を身に付けて展開できること

4. 国際社会で医療人として貢献できること

**33. スチューデントアシスタントの採用**

22 名 (2 年 9 名、3 年 5 名、4 年 5 名、5 年 1 名、6 年 2 名) を採用

**34. 大学特待生の採用**

2 年 2 名・3 年 2 名・4 年 1 名・5 年 2 名、授業料 100 万円免除／6 年 2 名、授業料半額免除

**35. 大学学内奨学生選考**

3 名の学生に対して総額 2,700,000 円の奨学金を貸与

**36. 平成 25 年度教職員子弟の大学授業料減免**

3 名減免 計 3,000,000 円

**37. 平成 26 年度臨床研修歯科医の募集定員**

単独型研修方式 40 名、複合型研修方式 120 名

**38. 附属病院 土曜開院開始 (平成 25 年 5 月 11 日)**

診療科：矯正歯科、小児歯科

診療時間：8:45～17:00 (初診受付時間は 8:45～11:00、13:30～14:30)

**39. 学位授与**

学位記番号 甲第 716 号～739 号 24 名に学位記授与

学位記番号 乙第 1576 号～1586 号 11 名に学位記授与

**40. 平成 25 年度法人理事会・法人評議員会・主任教授会・教授会・大学院研究科会議**

1) 法人理事会 14 回開催

(平成 25 年 4 月 25 日、5 月 30 日 (2 回)、6 月 27 日、

7月25日、8月29日、9月26日、10月24日、11月28日、12月27日、平成26年1月23日、2月27日、3月27日(2回))

2) 法人評議員会 2回開催

(平成25年5月30日、平成26年3月27日)

3) 主任教授会 23回開催

(平成25年4月10日、5月8日、6月12日、7月10日、7月31日、8月14日、9月11日、10月9日、11月6日、11月13日、11月20日、11月27日、12月11日、12月25日、平成26年1月8日、1月22日、1月24日、1月29日、2月12日、3月5日、3月12日、3月26日、3月28日)

4) 教授会 2回開催

(平成25年4月10日、平成26年3月28日)

5) 大学院研究科会議 16回開催

(平成25年4月24日、5月22日、6月26日、7月24日、8月28日、9月25日、10月9日、10月23日、11月27日、12月25日、平成26年1月22日、2月12日、2月26日、3月12日、3月26日)

41. 本学関係 褒章・叙勲の受章者等

- 1) 褒章 大学25回 窪 盛偉 高知県 藍綬褒章
- 2) 叙勲 大学9回 千代忠俊 香川県 瑞宝双光章  
共10名
- 3) 平成25年度文部科学省医学教育等関係業務功労者表彰  
附属病院 薬剤師長 上中清隆

42. 川添理事長・学長 (平成25年8月20日付)

(一社)日本私立歯科大学協会第6代会長就任

43. 教職員数 (平成26年3月1日現在:377名)

- 1) 大学 361名
  - ・教員数 189名  
学長1名、主任教授25名、専任教授8名、准教授26名、講師62名、助教65名、病院教授1名、病院助教1名
  - ・職員数 172名  
事務・技術77名、医療94名、労務1名
- 2) 歯科技工士専門学校 8名  
教員6名、事務2名
- 3) 歯科衛生士専門学校 8名  
教員6名、事務2名

44. 人事

1. 法人関係

- 1) 任期満了に伴う退任 (平成26年3月31日付)
  - ・法人役員  
理事長 川添 堯彬  
理事 下村錢三郎、田中昭男、諏訪文彦、  
寛道健治、三谷卓、岡邦恭、橋本猛伸、

藤野明、伊達洋彦

監事 古川壽男、前田眞治

・法人評議員 大浦清 共37名

・法人顧問 上田雅俊

2) 死亡退任 (平成25年10月29日付)

法人評議員 田治米保夫

2. 退職

1) 定年退職

口腔治療学講座 主任教授 林宏行 共8名

2) 依願退職

歯科麻酔学講座 主任教授 小谷順一郎

共21名

3) 任期制教員任期満了退職

薬理学講座 講師 戸田雅裕 共7名

4) 再雇用契約満了退職

総務課牧野学舎事務室 事務職員 仲宗根幸男

共3名

3. 昇任

1) 准教授

口腔衛生学講座 講師 川崎弘二 共3名

2) 退職に伴う准教授特別昇任

口腔治療学講座 講師 島銀一郎 共2名

3) 講師

解剖学講座 助教 上村守 共5名

4) 専門学校助教員

歯科衛生士専門学校 助手 大西愛

5) 職員

法人事務局長 亀井崇 共11名

4. 任用

1) 専任教授

障害者歯科 博士(歯学) 中嶋正博 共3名

2) 准教授

耳鼻咽喉科 博士(医学) 馬場一泰

3) 講師

薬理学講座 博士(医学) 西浦弘志

4) 助教

歯科矯正学講座 博士(歯学) 有馬良幸 共4名

5) 職員

病院事務部 事務部長 齊藤広志 共6名

6) 任期付職員新規採用

教務学生課 事務職員 藤井健史 共5名

5. 任期制教員契約更新

歯周病学講座 助教 高橋貫之 共7名

6. リサーチ・アシスタント採用

有歯補綴咬合学 堤義文

7. 所属異動

大学庶務課 木下誠一郎 共3名

8. 兼務

総務課課長 松村誠一 共3名

9. 定年退職後再雇用

大学庶務課記念館事務室 事務職員 齋藤俊司  
共 3 名

10. 定年退職後再々雇用

総務課牧野事務室 事務職員 仲宗根幸男  
共 2 名

11. 委嘱

1) 客員教授

大阪歯科大学附属病院 元病院教授 北條博一  
共 8 名

2) Visiting Professor

韓国慶熙大学校歯科大学 教授 Young-Guk Park  
共 7 名

3) 平成 25 年度講師 (非常勤) (平成 25 年 4 月 1 日付)

解剖学講座 清水孝治 共 403 名

4) 臨床教授

口腔インプラント科 江藤隆徳 共 2 名

5) 嘱託

梅垣麻酔科クリニック 院長 (医師) 梅垣裕  
共 21 名

6) 病院医員 63 名

7) 平成 25 年度ティーチングアシスタント

歯科理工学 白井翼 共 10 名

8) 学生相談室カウンセラー

臨床心理士 畑聡美 共 2 名

9) 保健室嘱託医師

大阪大学医学部 助教 (医師) 木田博

10) 各種委員会委員長

予算委員会委員長 下村錢三郎

11) 学年指導教授・助言教員・特別アドバイザー

(平成 25 年 4 月 1 日現在)

学年指導教授 1 年 藤原真一

2 年 武田昭二

3 年 西川泰央

4 年 有田憲司

5 年 山本一世

6 年 林宏行

学年指導教授特別補佐 4 年 辻林徹 共 2 名

副指導教授 6 年 梅田誠

教育アドバイザー 1～6 年 王宝禮 他

助言教員 1 年 李嘉永 共 8 名

2 年 上村守 共 8 名

3 年 竹村明道 共 8 名

4 年 谷本啓彰 共 8 名

特別アドバイザー 5 年 岩田有弘 共 12 名

6 年 戸田伊紀 共 22 名

12) 平成 25 年度学友会会長

主任教授 松本尚之

45. 学外活動

1. 教員海外研修

口腔解剖学講座 講師 中塚美智子 共 3 件

2. 教員海外出張

有歯補綴咬合学講座 主任教授 田中昌博 共 101 件

3. 共同研究員受入

京都大学 再生医科学研究所大学院生 中村浩樹

受入講座: 歯科理工学講座

期間: 平成 25 年 5 月 9 日～平成 26 年 3 月 31 日 共 2 件

4. 国際交流

1) 中国 5 大学との共同研究

〈受入〉上海交通大学口腔医学院 2 名

期間: 平成 25 年 9 月 11 日～15 日

平成 25 年 9 月 11 日～10 月 8 日

〈派遣〉北京大学口腔医学院

期間: 平成 25 年 11 月 16 日～20 日

有歯補綴咬合学講座 田中 (昌) 教授、田中 (順)

准教授、藤井 助教

2) 海外協定校との学生交流

〈受入〉

・台北医学大学 学生 9 名

期間: 平成 25 年 7 月 21 日～27 日

・南方医科大学 学生 8 名、教員 1 名

期間: 平成 25 年 7 月 23 日～29 日

・シドニー大学 学生 7 名

期間: 平成 25 年 11 月 24 日～12 月 4 日

〈派遣〉

・北京大学口腔医学院

学生 5 名 (2 年 2 名、3 年 1 名、4 年 2 名)

引率教員: 吉川 准教授

期間: 平成 25 年 7 月 18 日～24 日

・シドニー大学歯学部

学生 6 名 (3 年 5 名、4 年 1 名)

引率教員: 牧田 助教

期間: 平成 25 年 8 月 17 日～26 日

・コロンビア大学歯学部 学生 8 名 (5 年)

引率教員: 田中 准教授、藤田 准教授

期間: 平成 26 年 3 月 8 日～18 日

3) コロンビア大学歯学部長大学院特別講演並びにコロ

ンビア C E プログラム 第 3 回ニューヨーク最新  
歯科治療 -インプラント・審美歯科・歯周外科-

・コロンビア大学歯学部長大学院特別講演

平成 25 年 10 月 11 日 (金)

午後 4 時～午後 4 時 45 分

参加者 160 名 (於: 100 周年記念館)

・コロンビア CE プログラム 第 3 回ニューヨーク  
最新歯科治療 -インプラント・審美歯科・歯周外科-

〈One Day Lecture コース〉

平成 25 年 10 月 12 日 (土)

午前 9 時 30 分～午後 4 時 45 分

参加者 205 名 (於: 100 周年記念館)

〈Advanced コース〉

平成 25 年 10 月 13 日 (日)・14 日 (月)

午前9時～午後4時30分  
参加者40名(於:楠葉学舎)

#### 46. 補助金・助成金

- 1) 平成25年度大阪歯科大学学術研究奨励助成金交付  
助成金交付額 3,950,000円(11件)
- 2) 平成25年度科学研究費補助金交付(文部科学省)
  - ・基盤研究(C) 35件
  - ・若手研究(B) 16件
  - ・研究活動スタート支援 2件 計53件補助金交付額 63,400,000円  
(間接経費 19,020,000円 合計 82,420,000円)
- 3) 平成25年度私立大学等経常費補助金交付額  
401,108,000円
- 4) 平成25年度私立大学等研究設備整備費等補助金  
(私立大学等研究設備等整備費)
  - ・歯科診療チェアユニット及びファントム交付額 16,627,000円
- 5) 平成25年度臨床研修費等補助金交付額  
121,728,000円
- 6) 国際交流助成  
歯科東洋医学室 専任教授 方一如 共42名に対し  
8,521,250円の助成
- 7) 寄贈  
大阪歯科大学第41回卒業生(世一会)300,000円  
共3件

#### 47. 諸規程

- 1) 大阪歯科大学学則(一部改正) 平成25年4月1日付
- 2) 大阪歯科大学卒業生子女奨学金規程(施行)
- 3) 学校法人大阪歯科大学教員の任期に関する規程(一部改正)
- 4) 学校法人大阪歯科大学教員の定員等に関する規程(一部改正)
- 5) 学校法人大阪歯科大学教員の定員等に関する規程改正に伴う任期付教員の再任用に関する申し合わせ(施行)
- 6) 教員の兼務、出張及び研修に関する内規(一部改正)
- 7) 大阪歯科大学学位規程(一部改正)
- 8) 大阪歯科大学臨床研究利益相反検討委員会規程(施行)
- 9) 大阪歯科大学教員評価実施規程(施行)
- 10) 学校法人大阪歯科大学事務組織及び事務分掌規程(一部改正)
- 11) 学校法人大阪歯科大学事務組織表(一部改正)
- 12) 学校法人大阪歯科大学就業規則(一部改正)
- 13) 学校法人大阪歯科大学任期付職員就業規則(一部改正)
- 14) 学校法人大阪歯科大学契約職員就業規則(一部改正)
- 15) 学校法人大阪歯科大学旅費規程(一部改正)
- 16) 学校法人大阪歯科大学旅費規程内規(一部改正)
- 17) 大阪歯科大学歯科衛生士専門学校学則(一部改正)
- 18) 院内感染防止委員会規程(一部改正)
- 19) 大阪歯科大学附属病院感染対策室運用規程(施行)  
平成25年4月10日付

- 20) 昇格・降格に関する取扱細則(一部改正) 平成25年5月30日付
- 21) 大阪歯科大学共同研究員受入規程(施行)
- 22) 共同研究員受入に係る研究料に関する申し合わせ(施行)
- 23) 学校法人大阪歯科大学専門学校教員任用規程(一部改正)
- 24) 大阪歯科大学附属病院医療安全管理委員会規程(一部改正)
- 25) 大阪歯科大学附属病院医療安全管理室運用規程(一部改正) 以上 平成25年6月27日付
- 26) 大学院学則第16条「優れた研究業績を上げた者」に関する申し合わせ(施行)
- 27) 学校法人大阪歯科大学就業規則(一部改正)
- 28) 学校法人大阪歯科大学給与規程(一部改正) 以上 平成25年7月25日付
- 29) 教職員定年規程(一部改正)
- 30) 職員の定年の延長に関する申し合わせ(施行)
- 31) 卒業生(歯科医師免許取得者)の聴講(テーマ別)について(申し合わせ)(施行)
- 32) 再入学希望者の本学利用について(申し合わせ)(施行) 以上 平成25年8月29日付
- 33) 学校法人大阪歯科大学教員の定員等に関する規程(一部改正)
- 34) 大阪歯科大学学位規程(一部改正)
- 35) 大阪歯科大学における科学研究費助成事業(科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金)取扱規則(一部改正)
- 36) 大阪歯科大学における科学研究費助成事業(科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金)直接経費の使用取決(一部改正) 以上 平成25年9月26日付
- 37) 学習サポーター制度に関する規則(施行)
- 38) 医療安全管理委員会専門小委員会内規(施行) 平成25年10月24日付
- 39) 学校法人大阪歯科大学資産運用細則(一部改正)
- 40) 大阪歯科大学附属病院医療ガス安全管理委員会規程(一部改正)
- 41) 輸血委員会規程(一部改正) 平成25年11月28日付
- 42) 学校法人大阪歯科大学事務組織及び事務分掌規程(一部改正)
- 43) 学校法人大阪歯科大学管理運営規則(施行)
- 44) 学校法人大阪歯科大学職制規程(廃止)
- 45) 大阪歯科大学臨床教授規程(施行)
- 46) 学校法人大阪歯科大学教員評価委員会規程(一部改正)
- 47) 大阪歯科大学附属病院規程(一部改正)
- 48) 大阪歯科大学附属病院運営委員会規程(一部改正)
- 49) 大阪歯科大学教授会・主任教授会規程(一部改正)
- 50) 大阪歯科大学大学院委員会規程(一部改正)
- 51) 大阪歯科大学教務部委員会規程(一部改正)
- 52) 大阪歯科大学学生部委員会規程(一部改正)
- 53) 大阪歯科大学医の倫理委員会規程(一部改正)
- 54) 大阪歯科大学教育情報センター規程(一部改正)
- 55) 大阪歯科大学カリキュラム委員会規程(一部改正)

- |                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| 56) 入学試験委員会規程（一部改正）               | 68) 大阪歯科大学ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会規程（施行） |
| 57) 大学院入学試験委員会規程（一部改正）            | 69) 大阪歯科大学教授候補者選考委員会規程（一部改正）            |
| 58) 大阪歯科大学総務部委員会規程（一部改正）          | 70) 大阪歯科大学教員選考規程（一部改正）                  |
| 59) 学内食堂管理運営委員会規程（一部改正）           | 71) 図書館運営委員会に関する細則（一部改正）                |
| 60) 廃棄物処理委員会規程（一部改正）              | 72) 図書資料選択委員会に関する細則（一部改正）               |
| 61) 健康管理委員会規程（一部改正）               | 73) 大阪歯科大学動物実験委員会規程（一部改正）               |
| 62) 大阪歯科大学公開講座委員会規程（一部改正）         | 以上 平成 26 年 1 月 23 日付                    |
| 63) 大阪歯科大学国際交流部委員会規程（一部改正）        | 74) 大阪歯科大学附属病院臨床研修歯科医就業規則（一部改正）         |
| 64) 大阪歯科大学共用歯学 CBT 委員会規程（一部改正）    | 75) 大阪歯科大学国際交流部委員会規程（一部改正）              |
| 65) 大阪歯科大学共用歯学 OSCE 実行委員会規程（一部改正） | 76) 大阪歯科大学国際学術交流助成に関する細則（一部改正）          |
| 66) ブラッシュアップ委員会規程（一部改正）           | 以上 平成 26 年 3 月 27 日付                    |
| 67) 大阪歯科大学バイオセーフティー委員会規程（一部改正）    |   |

## || 平成 25 年度 監事監査報告

平成 25 年度会計決算にあたり、平成 26 年 5 月 12 日（月）、13 日（火）の 2 日間にわたり下記のとおり、楠葉学舎 5 号館 4 階中会議室において実施した。川添理事長より、安定した財政基盤の確立につながる監査が要請された。監査には、本井、古川両監事のほか川添理事長、下村常務理事、田中常務理事、

藤野理事、前田理事、亀井法人事務局長、中尾経理部長、牧谷大学事務部長、松村大学管理部長、高須大学企画部長および齊藤病院事務部長が立ち会った。

平成 25 年度監査の報告は次のとおりである。

平成 26 年 5 月 13 日

### 平成 25 年度監事監査報告書

学校法人 大阪歯科大学  
理 事 長 川添 堯彬 殿

学校法人 大阪歯科大学  
監 事 本井 文夫  
監 事 古川 壽男

私たちは、私立学校法第 37 条第 3 項及び学校法人大阪歯科大学寄付行為第 13 条の規定に基づき、平成 25 年度（平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで）の学校法人の業務、財産の状況及び計算書類等、すなわち事業報告書、資金収支計算書（人件費内訳表を含む）、消費収支計算書、貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む）及び財産目録について監査を行った結果、次のとおり報告いたします。

#### 1. 監査方法の概要

私たちは、理事会及び評議員会に出席し、理事からの事業の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、会計監査人と連携し、計算書類について検討するなど、必要と思われる監査手続きを実施いたしました。

#### 2. 監査の結果

- (1) 資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載と一致し、法令及び寄付行為に従い、収支状況及び財産状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の業務執行に関しては、不正の行為はなく、かつ、法令若しくは寄付行為に違反する重大な事実はありません。

以上

## || 平成 25 年度 決算報告

平成 25 年度決算は、平成 26 年 5 月 29 日に開催された法人理事会で承認され、同日に開催された第 151 回評議員会に報告されました。平成 25 年度決算における「資金収支計算書」、「消費収支計算書」、「貸借対照表」の概要は次のとおりです。

平成 25 年度 資金収支計算書			
(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)			
(単位：円)			
<b>収入の部</b>			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	4,360,420,000	4,298,355,000	62,065,000
手数料収入	27,287,000	24,474,250	2,812,750
寄付金収入	38,710,000	38,022,490	687,510
補助金収入	581,640,000	581,009,626	630,374
資産運用収入	194,222,000	192,786,233	1,435,767
事業収入	1,854,449,000	2,024,492,260	△ 170,043,260
雑収入	300,222,000	475,844,963	△ 175,622,963
前受金収入	486,400,000	504,250,000	△ 17,850,000
その他の収入	1,180,050,000	1,424,999,175	△ 244,949,175
資金収入調整勘定	△ 993,917,000	△ 1,143,107,824	149,190,824
小計	8,029,483,000	8,421,126,173	△ 391,643,173
前年度繰越支払資金	3,692,200,188	3,692,200,188	
収入の部合計	11,721,683,188	12,113,326,361	△ 391,643,173
<b>支出の部</b>			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	4,463,159,000	4,537,353,186	△ 74,194,186
教育研究経費支出	1,912,842,679	1,936,211,739	△ 23,369,060
管理経費支出	498,404,408	497,101,197	1,303,211
施設関係支出	10,841,512	17,388,262	△ 6,546,750
設備関係支出	234,196,169	248,551,238	△ 14,355,069
資産運用支出	974,286,000	1,186,868,843	△ 212,582,843
その他の支出	341,523,000	332,334,161	9,188,839
「予備費」	(93,776,768)		6,223,232
資金支出調整勘定	△ 269,999,000	△ 318,848,659	48,849,659
小計	8,171,477,000	8,436,959,967	△ 265,482,967
次年度繰越支払資金	3,550,206,188	3,676,366,394	△ 126,160,206
支出の部合計	11,721,683,188	12,113,326,361	△ 391,643,173

### 1. 平成 25 年度資金収支計算書

資金収支計算書は、当該年度の諸活動に対応する全ての収入および支出ならびに支払資金の収支の顛末を明らかにするものです。

資金収入は、学生生徒等納付金収入、補助金収入、事業収入などの法人に帰属する収入のほか、前受金収入なども含め、

84 億 2,112 万円となりました。一方、資金支出は、教職員の人件費、教育研究活動および法人の運営に必要な諸経費、施設、設備関係支出などにより、84 億 3,695 万円となりました。

この結果、収支差引 1,583 万円の支出超過となり、次年度繰越支払資金は 36 億 7,636 万円となりました。

## 平成25年度 消費収支計算書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位：円)

### 消費収入の部

科目	予 算	決 算	差 異
学 生 生 徒 等 納 付 金	4,360,420,000	4,298,355,000	62,065,000
手 数 料	27,287,000	24,474,250	2,812,750
寄 付 金	48,710,000	42,978,268	5,731,732
補 助 金	581,640,000	581,009,626	630,374
資 産 運 用 収 入	193,742,000	192,306,233	1,435,767
事 業 収 入	1,854,449,000	2,024,492,260	△ 170,043,260
雑 収 入	300,222,000	475,844,963	△ 175,622,963
帰属収入合計	7,366,470,000	7,639,460,600	△ 272,990,600
基本金組入額合計	△ 4,919,000	△ 27,424,499	22,505,499
消費収入の部合計	7,361,551,000	7,612,036,101	△ 250,485,101

### 消費支出の部

科目	予 算	決 算	差 異
人 件 費	4,428,703,000	4,409,915,609	18,787,391
教 育 研 究 経 費	2,466,852,679	2,508,380,710	△ 41,528,031
管 理 経 費	597,833,408	597,903,290	△ 69,882
資 産 処 分 差 額	0	51,437,227	△ 51,437,227
徴収不能引当金繰入額	0	7,846,500	△ 7,846,500
徴 収 不 能 額	0	94,519	△ 94,519
「 予 備 費 」	(37,856,087)		62,143,913
	62,143,913		
消費支出の部合計	7,555,533,000	7,575,577,855	△ 20,044,855
当年度消費収入超過額	0	36,458,246	
当年度消費支出超過額	193,982,000	0	
前年度繰越消費支出超過額	20,280,692,960	20,280,692,960	
基本金取崩額	233,000	291,389,881	
翌年度繰越消費支出超過額	20,474,441,960	19,952,844,833	

## 2. 平成25年度消費収支計算書

消費収支計算書は、資産もしくは用益の消費額（消費支出）とその補填に充当できる収入（消費収入）とを対比し、両者の均衡の有無を明らかにするものです。

帰属収入は、学生生徒等納付金、補助金、事業収入などの法人に帰属する負債とならない収入で、76億3,946万円となりました。また、基本金組入額は2,742万円となりましたので、消費支出に充当することのできる消費収入は76億1,203万円となりました。一方、消費支出は、教職員の人件費、教育研究

活動および法人の運営に必要な諸経費で、75億7,557万円となりました。

この結果、平成25年度決算における消費収支は、3,645万円の消費収入超過となりました。

これにより、翌年度繰越消費収支差額は、前年度繰越消費支出超過額が202億8,069万円であり、基本金取崩しが2億9,138万円発生したため、199億5,284万円の消費支出超過額計上となりました。

## 貸借対照表

(平成26年3月31日)

(単位：円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	54,535,842,417	54,575,910,534	△ 40,068,117
有形固定資産	19,518,482,008	19,996,721,157	△ 478,239,149
その他の固定資産	35,017,360,409	34,579,189,377	438,171,032
流動資産	4,339,571,038	4,341,751,071	△ 2,180,033
資産の部合計	58,875,413,455	58,917,661,605	△ 42,248,150
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	4,374,962,392	4,483,335,706	△ 108,373,314
流動負債	1,218,833,957	1,216,591,538	2,242,419
負債の部合計	5,593,796,349	5,699,927,244	△ 106,130,895
基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	42,745,645,059	43,033,306,675	△ 287,661,616
第3号基本金	29,816,816,880	29,793,120,646	23,696,234
第4号基本金	672,000,000	672,000,000	0
基本金の部合計	73,234,461,939	73,498,427,321	△ 263,965,382
消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	19,952,844,833	20,280,692,960	△ 327,848,127
消費収支差額の部合計	△ 19,952,844,833	△ 20,280,692,960	327,848,127
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	58,875,413,455	58,917,661,605	△ 42,248,150

### 3. 貸借対照表

貸借対照表は、会計年度末時点における財政状況（保有する資産と負債の状況）を表示するものです。

資産の部の合計額は、588億7,541万円となり前年度末に比べ、4,224万円減少しました。これは、固定資産が減価償却等により4,006万円、流動資産が218万円減少したことによるものです。

負債の部は、前年度末比1億613万円減少して、55億9,379万円となりました。

翌年度繰越消費支出超過額は、消費収支計算書の項目で説明のとおり199億5,284万円でしたので、基本金の部は前年度末比2億6,396万円減少して732億3,446万円となりました。



## || 平成 26 年度 学術研究奨励助成金 (大学院生)

課題番号	氏名	専攻	学年	研究課題	助成額 (円)
14-01	奥田 麻貴子	歯周病学	4	II型糖尿病モデルラットを用いた硬組織分化誘導におけるトランスクリプトーム解析	225,000
14-02	麥田 菜穂	高齢者歯科学	2	嚥下時の口唇閉鎖圧に関する研究	225,000
14-03	中澤 悠里	高齢者歯科学	3	嚥下障害患者における咽頭の形態学的検討	225,000
14-04	増田 貴行	高齢者歯科学	3	新製法によるオールセラミッククラウンの開発	225,000
14-05	廣田 秀逸	高齢者歯科学	4	破骨細胞分化におけるヒアルロン酸の影響	225,000
14-06	覚道 昌樹	有歯補綴咬合学	4	超音波前額断面画像を用いた片側咀嚼時における舌運動評価基準の設定	300,000
14-07	加山 智規	欠損歯列補綴咬合学	4	骨芽細胞のスフィンゴミエリン合成酵素 (SMS) 2 が破骨細胞分化に及ぼす影響	225,000
14-08	邢 鶴琳	欠損歯列補綴咬合学	4	純チタン金属のアルカリ溶液の濃度変化がラットの骨髄細胞の硬組織分化誘導能に与える影響について	225,000
14-09	竹山 旭	口腔外科学第一	4	臨床応用のための唾液腺幹細胞の分離方法確立と分化再生能の解析	225,000
14-10	香川 真貴子	歯科矯正学	3	矯正治療における歯周組織のリモデリングについての検討	225,000
14-11	大橋 百加	歯科矯正学	4	RAW264.7 細胞の破骨細胞分化における IL-17A の影響	225,000
14-12	中島 有佳子	歯科放射線学	4	CBCT におけるピクセル値の安定性	225,000
14-13	中田 雅代	歯科麻酔学	3	非致命的な脳虚血負荷モデルマウスにおける Nestin 陽性神経幹細胞の発現と組織の修復過程に関する研究	225,000
計 13 件					3,000,000

## || 人事

### 大学役職者

副学長 諏訪 文彦  
副学長 小正 裕  
総務部長 小正 裕  
教務部長 田中 昭男  
学生部長 田中 昌博  
図書館長 川合進二郎  
附属病院病院長 覚道 健治  
大学院研究科科长 西川 泰央  
中央歯学研究所所長 清水谷公成  
教育情報センター所長 佐ノ木幸夫  
国際交流部長 岡崎 定司  
附属病院副病院長 森田 章介  
附属病院副病院長 山本 一世  
以上 H.26.4.1 付

物理学教室  
薬理学講座  
小児歯科学講座  
歯科保存学講座  
高齢者歯科学講座  
歯科矯正学講座  
歯科麻酔学講座  
障がい者歯科

### 昇 任

内科学講座  
口腔外科学第二講座  
化学教室  
口腔衛生学講座  
歯周病学講座  
高齢者歯科学講座  
歯科放射線学講座

講師 松原 英一  
講師 納富 拓也  
講師 阿部 洋子  
助教 小正 玲子  
助教 楠 尊行  
助教 安井憲一郎  
助教 大下 修弘  
助教 伊達岡 聖  
以上 H.26.4.1 付

主任教授 大久保 直  
准教授 大西 祐一  
講師 牧田 佳真  
講師 神 光一郎  
講師 河野 智生  
講師 川本 章代  
講師 蒲生 祥子

### 教員採用

薬理学講座

准教授 天野 均

小児歯科学講座	講師	篠永 ゆかり	図書課	事務職員	平田 悠樹
歯科麻酔学講座	講師	岸本 直隆	附属病院	薬剤師	安藤 薫
口腔インプラント科	講師	新井 是宣		以上	H.26.6.1 付
	以上	H.26.4.1 付			
<b>専門学校教員昇任</b>			<b>職員登用</b>		
歯科技工士専門学校	教務主任	森川 良一	教務学生課	課長	中山 勝美
	以上	H.26.4.1 付	教務学生課	事務職員	藤井 健史
			附属病院	放射線技師	高橋 梢吾
				以上	H.26.4.1 付
<b>再任用</b>			総務課広報担当	事務職員	南 やよい
歯科保存学講座	助教	竹内 摂			H.26.7.1 付
歯科矯正学講座	助教	居波 薫			
	以上	H.26.4.1 付			
<b>大学院教員任用</b>			<b>再雇用</b>		
大学院教授	諏訪 文彦,	岩井 康智	同窓会事務局	事務職員	西堤 京子
	西川 泰央,	池尾 隆	総務課人権担当	事務職員	野中登貴男
	田中 昭男,	福島 久典	同窓会事務局	事務職員	三木 慶一
	大浦 清,	神原 正樹		以上	H.26.4.1 付
	山本 一世,	梅田 誠	<b>昇 進</b>		
	小正 裕,	田中 昌博	附属病院	歯科衛生士長	高田橋美幸
	岡崎 定司,	森田 章介	病院庶務課卒後研修担当	主任	中原しのぶ
	覚道 健治,	松本 尚之	医事課	主任	吐山 寛
	清水谷公成,	有田 憲司	専門学校事務室	主任	北山恵美子
大学院准教授	竹村 明道,	隈部 俊二	附属病院	歯科衛生士主任	上野 美奈
	内橋 賢二,	鎌田 愛子		以上	H.26.4.1 付
	西川 哲成,	山中 武志	<b>所属異動</b>		
	今井 弘一,	川崎 弘二	専門学校事務室	事務職員	東尾 麻由
	吉川 一志,	至田 宗泰			H.26.4.1 付
	田口洋一郎,	高橋 一也	大学庶務課	事務職員	青山 知世
	田中 順子,	西崎 宏	教務学生課天満橋担当	主任	西本 敏彦
	井関 富雄,	中嶋 正博	教務学生課天満橋担当	主任	前住 領子
	佐久間泰司,	馬場 俊輔	教務学生課天満橋担当	事務職員	池田 英子
	宮前 雅見,	藤田 淳一	教務学生課天満橋担当	事務職員	藤埴 裕志
	樅 則章,		教務学生課楠葉担当	事務職員	原 美津恵
大学院講師	上村 守,	戸田 伊紀	教務学生課楠葉担当	事務職員	佐々木久恵
	中塚美智子,	井上 博	教務学生課楠葉担当	事務職員	松浦しのぶ
	平野俊一郎,	合田 征司	教務学生課楠葉担当	事務職員	栗村 法往
	和唐 雅博,	富永 和也	教務学生課楠葉担当	事務職員	藤井 健史
	山根 一芳,	西浦 弘志	大学庶務課記念館事務室	主任	木下誠一郎
	橋本 典也,	土居 貴士		以上	H.26.5.1 付
	神 光一郎,	岩田 有弘	<b>兼 務</b>		
	柿本 和俊,	小野 圭昭	歯科技工士専門学校	専門学校校長	末瀬 一彦
	楠本 哲次,	吉田 博昭	歯科衛生士専門学校	専門学校校長	小出 武
	大西 祐一,	西浦 亜紀		以上	H.26.4.1 付
	四井 資隆,	原田 京子	<b>依願退職者</b>		
	大東 希好,	澤井 宏文	歯科理工学講座	助教	岡田 正弘
	本田 義知,	李 嘉永	薬理学講座	講師	西浦 弘志
大学院助教	上田 甲寅,	乾 千珠子	附属病院	以上	H.26.5.31 付
	藤本 哲也,	吉川 美弘	医事課	看護師	作村麻由美
	堂前 英資,	真下 千穂		事務職員	松原 秀子
	南部 隆之,	岡田 正弘		以上	H.26.7.31 付
	恩田 康平,	保尾 謙三			
	河野 智生,	川本 章代	<b>委 嘱</b>		
	佐藤 正樹,	前田 武志	名誉客員教授		山下 敦
	小正 聡,	松本 和浩	客員教授		螺良 愛郎, 北條 博一
	山田 耕治,	窪 寛仁			二階 宏昌, 明坂 年隆
	舘庭 秀也,	居波 薫	Visiting Professor		五十嵐順正
	蒲生 祥子,	秋山 広徳			李 勝杓
	岸本 直隆	以上			Chitta Ranjan Choudhury
	以上	H.26.4.1 付			金 岩, 朴 榮 國
<b>職員採用</b>			嘱託 臨床心理士	以上	H.26.4.1 付
教務学生課楠葉担当	主任	中谷 悟		辻野 達也,	関 珠希
教務学生課楠葉担当	事務職員	筒井 桃子		山田 実子	
経理課	事務職員	真田 優子	楠葉保健室 嘱託医師		木田 博

嘱託 医師	永井 由巳, 朝子 小山 智史, 螺良 梅垣 裕, 西村 哲哉 田中 美和, 森口久美子	竹田 浩子, 奥田 恵子 津野 隆哉, 長央由里子 奥田 隆彦, 田中 会秀 友田 幸一, 松田彩起子	矯正歯科 口腔インプラント科 小児歯科	奥 佳葉, 小野 高尚 林 寛, 小島 智子 谷口 貴一, 山本 泰右 白石 愛湖, 吉田 訓子	濱田 真智, 坂本 章人 大前 有紀 西川 紘甲, 島原 淳 永田 幸子 大本 博樹 渡辺 麻莉
嘱託 歯科医師 医療嘱託 口腔インプラント科 保険委員会担当 臨床研修管理運営委員会担当 医事相談担当		金平裕久美, 牧野 利彦 若野 正人, 津田 高司 以上 H.26.4.1 付	障がい者歯科 歯科麻酔科 臨床研修教育科 総合診療・診断科 ポストドクトラルフェロー 口腔外科学第二 歯科矯正学	加藤 宗則, 木下 郁恵 安田 麻美, 岩見江利華 以上	長谷川真也, 中井 智加 H.26.4.1 付
臨床教授	江藤 隆徳, 以上	青野 充, H.26.4.1 付			渡辺 昌広, 氏井 庸介 H.26.4.1 付
臨床准教授	森川 充康, 以上	徳永 徹, H.26.4.1 付			小正 裕, 大浦 清 覚道 健治, 田中 昌博 牧谷 弘幸, 高須 聡 H.26.4.1 付
臨床講師	佐々木 昇, 諸井 英徳, 佐古 好正, 田口 洋見, 吉村 佳博, 小室 甲, 竹中 洋平, 牧草 一人, 小室 寧, 利森 仁, 山林 一公, 糸田 昌隆, 藤原 成樹, 坂井 秀明, 吉見 哲朗, 太田 美紗, 三宅 勝俊, 九鬼佐和子, 松村 好, 諸井 香利, 仲西 健樹, 田口 千洋, 大谷 朋弘, 小室 節代, 藤原 正彦, 澤田 俊雪, 森川 勝, 三上 淑子, 林 正純, 貴島真佐子, 大塚 健司, 甲斐 智之, 奥田 教之, 吉次 良師, 六本 裕嗣, 九鬼 裕之, 丸岡 圭一, 有山喜七郎, 山口 貴史, 大塚 俊裕, 小川 清二, 天羽 隆, 田畑 勝彦, 田邊 順一, 赤根 昌樹, 三上 豊, 岩本 浩, 橋本 洋幸, 辰野 隆, 赤井 慶子, 松田 成彦, 三谷 徹, 岡本 吉宏, 以上 H.26.4.1 付		総務部委員会委員長 総務部委員会委員 廃棄物処理委員会委員長 廃棄物処理委員会委員 教務部委員会委員長 教務部委員会委員	田中 昭男, 諏訪 文彦, 西川 泰央, 亀井 崇, 松村 誠一, 吉村 里美, 以上 覚道 健治, 亀井 崇, 松村 誠一, 以上 藤原 真一, 西川 泰央, 山本 一世, 田中 昌博, 田中 順子, 秋山 広徳, 以上 梅田 誠, 益野 一哉, 以上 田中 昭男, 田中 昌博, 田中 順子, 以上 内橋 賢二, 西川 哲成, 有田 憲司, 以上 松原 英一, 牧田 佳真, 中塚美智子, 田村 功, 円山 由郷, 秋山 真理, 宮地 秀彦, 木村 大輔, 大河 貴久, 田中 昭男, 王 宝禮, 田中 昭男, 小出 武, 秋山 広徳, 川合進二郎, 辻林 徹, 松本 尚之, 以上 川合進二郎, 岡村 英幸, 竹村 明道, 藤本 哲也, 岡村 友玄, 西浦 弘志, 土居 貴士, 辻 則正, 楠 尊行, 吉峰 茂樹	
病院医員 保存修復科 歯内治療科 歯周治療科 高齢者歯科 補綴咬合治療科 (有歯) 補綴咬合治療科 (欠損) 口腔外科第1科 口腔外科第2科	黄地 智子, 松田 有之, 荒木 美奈, 仲間ひとみ, 吉田 浩志, 岡田由里子, 辻 早紀, 國領 遥香, 山田佳名子, 河内 勝史, 大郷 友規, 末武 綾, 福田 俊介, 藤木 傑, 池田 憲隆, 大隅 結耶, 森上 沙希, 河野多香子, 白矢 晃靖, 渡邊 信也, 花岡 理佳, 宇垣 吉秀, 後藤 倫子,	横田 啓太, 雲川 玲子, 藤本 侑里, 高橋 幸達, 本多 正直, 横山 博隆, 山根 菜美, 内藤 大介, 辻本 香織, 増田 有沙, 山路 厚, 藤林 学, 今井 雄三, 寺田 知里, 嶋森 彬, 林 輝嘉, 古川ちさと, 金銅 真世, 藤井 智子	第6学年教務部委員会委員長 第6学年教務部委員会委員 既卒者クラス教務部委員会委員長 既卒者クラス教務部委員会委員 図書館運営委員会委員長 図書館運営委員会委員 図書館資料選択委員会委員長 図書館資料選択委員会委員	梅田 誠, 益野 一哉, 田中 昌博, 田中 順子, 以上 内橋 賢二, 西川 哲成, 有田 憲司, 以上 松原 英一, 牧田 佳真, 中塚美智子, 田村 功, 円山 由郷, 秋山 真理, 宮地 秀彦, 木村 大輔, 大河 貴久,	田中 昭男, 王 宝禮, 田中 昭男, 小出 武, 秋山 広徳, 川合進二郎, 辻林 徹, 松本 尚之, 以上 川合進二郎, 岡村 英幸, 竹村 明道, 藤本 哲也, 岡村 友玄, 西浦 弘志, 土居 貴士, 辻 則正, 楠 尊行, 吉峰 茂樹

	松島 由紀, 後藤 基宏 居波 薫, 蒲生 祥子 阿部 洋子, 岸本 直隆 宮前 雅見, 米谷 裕之 菊池 優子, 伊達岡 聖 山田 裕, 馬場 一泰 岸本 直子 以上	H.26.4.1 付 納富 拓也 H.26.6.1 付 覚道 健治	共用歯学O S C E 実行委員会委員長 共用歯学O S C E 実行委員会委員	山本 一世 合田 征司 吉川 一志 緒方智壽子 田中 順子 松本 和浩 居波 薫 園本 美惠 米谷 裕之
健康管理委員会委員長 健康管理委員会委員	田中 昌博, 神原 正樹, 清水谷公成, 川合進二郎, 亀井 崇, 松村 誠一, 東 真一郎, 以上	大久保 直 福島 久典 山本 一世 辻野 達也 牧谷 弘幸 高須 聡 中山 勝美 H.26.4.1 付 田中 昌博	共用歯学C B T 委員会委員長 共用歯学C B T 委員会委員	辻林 徹, 岡村 英幸 戸田 伊紀 井上 博 富永 和也 野崎 中成 土居 貴士 李 嘉永 池永 英彰 小野 圭昭 吉峰 茂樹 大西 祐一 板垣 惠輔 加藤 裕彦 辰巳 浩隆 新井 是宣
学生部委員会委員長 学生部委員会委員	岩井 康智, 辻林 徹, 樫 則章, 以上	松本 尚之 大久保 直 西川 哲成 H.26.4.1 付 川合進二郎		H.26.4.1 付 西川 泰央 岡村 英幸 戸田 伊紀 富永 和也 野崎 中成 川崎 弘二 樫 則章 末瀬 一彦 至田 宗泰 柿本 和俊 前田 照太 蠅庭 秀也 板垣 惠輔 岸本 直隆 辰巳 浩隆 新井 是宣
学内食堂管理運営委員会委員長 学内食堂管理運営委員会委員	覚道 健治, 藤原 眞一, 山中 武志, 亀井 崇, 松村 誠一, 以上	松本 尚之 大久保 直 川崎 弘二 牧谷 弘幸 東 真一郎 H.26.4.1 付		H.26.4.1 付 松本 尚之 岡村 英幸 戸田 伊紀 内橋 賢二 富永 和也 野崎 中成 川崎 弘二 樫 則章 未瀬 一彦 至田 宗泰 柿本 和俊 前田 照太 蠅庭 秀也 板垣 惠輔 岸本 直隆 辰巳 浩隆 新井 是宣
教育情報センター管理運営委員会委員長 教育情報センター管理運営委員会委員	佐ノ木幸夫 藤原 眞一, 今井 弘一, 吉川 一志, 田中 順子, 戸田 伊紀, 南部 隆之, 松村 誠一, 岩本 匡生, 杉浦 雅之, 以上	辻林 徹 川崎 弘二 吉田 匡宏 古跡 孝和 富永 和也 堀井 活子 中山 勝美 高橋 和代 H.26.4.1 付 岡崎 定司	ブラッシュアップ委員会委員長 ブラッシュアップ委員会委員	H.26.4.1 付 松本 尚之 岡村 英幸 戸田 伊紀 内橋 賢二 富永 和也 野崎 中成 川崎 弘二 樫 則章 末瀬 一彦 至田 宗泰 柿本 和俊 前田 照太 蠅庭 秀也 板垣 惠輔 岸本 直隆 辰巳 浩隆 新井 是宣
国際交流部委員会委員長 国際交流部委員会委員	松本 尚之, 方 一如, 藤田 淳一, 以上	辻林 徹 中嶋 正博 益野 一哉 H.26.4.1 付	F D 委員会委員長 F D 委員会委員	H.26.4.1 付 田中 昭男 西川 泰央 山本 一世 梅田 誠 王 宝禮
学術研究奨励助成金交付審査委員会兼 共同研究助成審査委員会委員長 学術研究奨励助成金交付審査委員会兼 共同研究助成審査委員会委員	西川 泰央, 田中 昌博, 有田 憲司, 以上	清水谷公成 梅田 誠 H.26.4.1 付 諏訪 文彦	公開講座委員会委員長 公開講座委員会委員	H.26.4.1 付 有田 憲司 岡崎 定司 梅田 誠
カリキュラム委員会委員長 カリキュラム委員会委員	池尾 隆, 森田 章介, 藤原 眞一, 梅田 誠, 辻林 徹, 以上	西川 泰央 山本 一世 田中 昌博 有田 憲司 王 宝禮 H.26.4.1 付	医の倫理委員会委員長 医の倫理委員会副委員長 医の倫理委員会委員	H.26.4.1 付 覚道 健治 樫 則章 西川 泰央 松本 尚之 大久保 直

医の倫理委員会外部委員	伊藤 淑子	藤野 明, 森田 章介
	以上	山本 一世, 中尾 昌彦
組換えDNA実験安全委員会委員長	H.26.4.1 付 川合進二郎	齊藤 広志, 東 真一郎
組換えDNA実験安全委員会委員	清水谷公成, 大久保 直	森田 恭生, 今道 裕之
	樫 則章, 山中 武志	杉浦 雅之
	以上	以上
動物実験委員会委員長	H.26.4.1 付 池尾 隆	財務企画委員会 牧野学舎将来計画作業部会 会長
動物実験委員会委員	清水谷公成, 松本 尚之	財務企画委員会 牧野学舎将来計画作業部会 会員
	岡崎 定司, 樫 則章	田中 昭男, 諏訪 文彦
	隈部 俊二, 岡村 英幸	覚道 健治, 小正 裕
	戸田 伊紀, 牧谷 弘幸	長家 秀博, 亀井 崇
動物実験委員会外部委員	喜多 正和, 藤田 正	中尾 昌彦, 松村 誠一
	以上	以上
バイオセーフティー委員会委員長	H.26.4.1 付 梅田 誠	H.26.4.1 付 三谷 卓
バイオセーフティー委員会委員	清水谷公成, 山中 武志	小正 裕, 亀井 崇
	岡村 英幸, 戸田 伊紀	中尾 昌彦, 牧谷 弘幸
	以上	松村 誠一, 高須 聡
セクシュアル・ハラスメント防止委員会委員長	H.26.4.1 付 川添 堯彬	以上
セクシュアル・ハラスメント防止委員会委員	小正 裕, 田中 昌博	田中 昭男, 三谷 卓
	覚道 健治, 牧谷 弘幸	岡 邦恭, 橋本 猛伸
	高須 聡, 高橋 和代	諏訪 文彦, 覚道 健治
	以上	亀井 崇, 中尾 昌彦
知的財産委員会委員長	H.26.4.1 付 覚道 健治	牧谷 弘幸, 松村 誠一
知的財産委員会委員	田中 昭男, 諏訪 文彦	以上
	小正 裕	H.26.4.1 付 三谷 卓
	以上	田中 昭男, 中尾 昌彦
教員評価委員会委員長	H.26.4.1 付 川添 堯彬	覚道 健治, 小正 裕
教員評価委員会委員	田中 昭男, 大浦 清	亀井 崇, 牧谷 弘幸
	諏訪 文彦, 覚道 健治	以上
	西川 泰央, 小正 裕	H.26.4.1 付 下村錢三郎
	以上	田中 昭男, 三谷 卓
大学院委員会委員長	H.26.4.1 付 西川 泰央	藤野 明, 亀井 崇
大学院委員会委員	田中 昭男, 諏訪 文彦	中尾 昌彦, 牧谷 弘幸
	森田 章介, 清水谷公成	松村 誠一, 齊藤 広志
	岡崎 定司, 田中 昌博	東 真一郎, 田中 修
	梅田 誠	以上
	以上	H.26.4.1 付 下村錢三郎
中央歯学研究所委員会委員長	H.26.4.1 付 清水谷公成	田中 昭男, 諏訪 文彦
中央歯学研究所委員会委員	池尾 隆, 梅田 誠	藤野 明
	有田 憲司, 内橋 賢二	以上
	山中 武志, 野崎 中成	H.26.4.1 付 覚道 健治
	富永 和也, 戸田 伊紀	藤野 明, 川合進二郎
	本田 義知, 堀 英明	亀井 崇, 牧谷 弘幸
	牧谷 弘幸, 村上よし子	松村 誠一, 齊藤 広志
	以上	東 真一郎
治験委員会外部委員	H.26.4.1 付 植木 哲	以上
臨床研修管理運営委員会外部委員	H.26.4.1 付 徳永 徹	H.26.4.1 付 覚道 健治
	以上	下村錢三郎, 藤野 明
財務企画委員会委員長	H.26.4.1 付 川添 堯彬	川合進二郎, 亀井 崇
財務企画委員会委員	下村錢三郎, 田中 昭男	牧谷 弘幸, 松村 誠一
	三谷 卓, 藤野 明	齊藤 広志, 東 真一郎
	諏訪 文彦, 覚道 健治	以上
	小正 裕, 亀井 崇	H.26.4.1 付 下村錢三郎
	中尾 昌彦, 牧谷 弘幸	覚道 健治, 亀井 崇
	松村 誠一	松村 誠一, 東 真一郎
	以上	以上
財務企画委員会 病院の運営に関する事項部会 会長	H.26.4.1 付 覚道 健治	田中 修
財務企画委員会 病院の運営に関する事項部会 会員	下村錢三郎, 三谷 卓	以上
		H.26.4.1 付 下村錢三郎
		予算委員会委員長

予算委員会委員	川添 堯彬, 田中 昭男 諏訪 文彦, 覚道 健治 藤野 明, 小正 裕 西川 泰央, 田中 昌博 亀井 崇, 中尾 昌彦 牧谷 弘幸, 松村 誠一 高須 聡, 齊藤 広志 東 真一郎 以上	H.26.4.1 付	杉浦 雅之 以上	H.26.4.1 付
人事委員会委員長 人事委員会委員	下村錢三郎, 田中 昭男 諏訪 文彦, 覚道 健治 藤野 明, 小正 裕 亀井 崇, 中尾 昌彦 牧谷 弘幸, 高須 聡 齊藤 広志, 東 真一郎 以上	H.26.4.1 付	下村錢三郎, 田中 昭男 三谷 卓, 藤野 明 覚道 健治, 小正 裕 西川 泰央, 田中 昌博 樫 則章, 辻 一起子 李 嘉永, 亀井 崇 牧谷 弘幸, 松村 誠一 高須 聡, 齊藤 広志 東 真一郎, 中山 勝美 野中登貴男 以上	H.26.4.1 付
楠葉学舎衛生委員会委員長 楠葉学舎衛生委員会委員	木田 博, 高須 聡 橋本世津子, 中井 円 以上	H.26.4.1 付	田中 昭男, 佐ノ木幸夫 小正 裕, 西川 泰央 樫 則章, 田中 昌博 牧谷 弘幸, 亀井 崇 東 真一郎, 齊藤 広志 以上	H.26.4.1 付
天満橋附属病院衛生委員会委員長 天満橋附属病院衛生委員会委員	大久保 直, 東 真一郎 宇野 綾 以上	H.26.4.1 付	川添 堯彬, 覚道 健治 田中 昭男, 西川 泰央 田中 昌博, 亀井 崇 牧谷 弘幸, 齊藤 広志 東 真一郎 以上	H.26.4.1 付
自己点検運営委員会委員長 自己点検運営委員会委員	田中 昭男, 覚道 健治 西川 泰央, 川合進二郎 田中 昌博, 亀井 崇 牧谷 弘幸, 齊藤 広志 東 真一郎 以上	H.26.4.1 付	個人情報保護委員会委員長 個人情報保護委員会委員	諏訪 文彦
自己点検実施委員会委員長 自己点検実施委員会 法人部門委員	田中 昭男, 諏訪 文彦 亀井 崇, 中尾 昌彦 松村 誠一 以上	H.26.4.1 付	個人情報保護委員会大学部門委員長 個人情報保護委員会大学部門委員	田中 昭男, 佐ノ木幸夫 小正 裕, 田中 昌博 樫 則章, 牧谷 弘幸 松村 誠一, 岩本 匡生 以上
自己点検実施委員会 教育・研究部門委員	田中 昭男, 諏訪 文彦 西川 泰央, 清水谷公成 牧谷 弘幸, 中山 勝美 以上	H.26.4.1 付	個人情報保護委員会病院部門委員長 個人情報保護委員会病院部門委員	小正 裕, 森田 章介 山本 一世, 佐久間泰司 齊藤 広志, 東 真一郎 森田 恭生, 今道 裕之 杉浦 雅之 以上
自己点検実施委員会 病院部門委員	覚道 健治, 森田 章介 山本 一世, 齊藤 広志 東 真一郎, 杉浦 雅之 以上	H.26.4.1 付	個人情報保護委員会事務部門委員長 個人情報保護委員会事務部門委員	亀井 崇, 中尾 昌彦 松村 誠一, 高須 聡 齊藤 広志, 東 真一郎 岩本 匡生, 杉浦 雅之 以上
自己点検実施委員会 事務部門委員	牧谷 弘幸, 高須 聡 以上	H.26.4.1 付	専門学校の大学・短大化に関する検討委員会委員長 専門学校の大学・短大化に関する検討委員会委員	三谷 卓
自己点検実施委員会 編集委員	田中 昭男, 諏訪 文彦 西川 泰央, 亀井 崇 牧谷 弘幸, 松村 誠一 高須 聡 以上	H.26.4.1 付	下村錢三郎, 田中 昭男 諏訪 文彦, 覚道 健治 藤野 明, 末瀬 一彦 小出 武, 森川 良一 頭山 高子, 亀井 崇 牧谷 弘幸 以上	H.26.4.1 付
ODUウエルネス・ホール管理運営委員会委員長 ODUウエルネス・ホール管理運営委員会委員	覚道 健治, 佐ノ木幸夫 西川 泰央, 田中 昌博 松本 尚之, 大久保 直 長家 秀博, 亀井 崇 中尾 昌彦, 牧谷 弘幸 松村 誠一, 高須 聡 齊藤 広志, 東 真一郎		大阪歯科大学附属病院財務改善検討委員会委員長 大阪歯科大学附属病院財務改善検討委員会委員	下村錢三郎

		牧谷 弘幸, 齊藤 広志 東 真一郎 以上	H.26.4.1 付 下村錢三郎	第六学年 学年指導教授 学年指導教授補佐 教育アドバイザー 特別アドバイザー	山田 耕治, 窪 寛仁 農端 健輔, 原田 京子 四井 資隆, 大郷英里奈
資産運用検討委員会委員長 資産運用検討委員会委員		田中 昭男, 三谷 卓 覚道 健治, 藤野 明 岡 邦恭, 前田 眞治 亀井 崇, 中尾 昌彦 牧谷 弘幸, 稲留 誠 以上	H.26.4.1 付 覚道 健治		王 宝禮, 益野 一哉 戸田 伊紀, 篠永ゆかり 上田 甲寅, 吉田 匡宏 田村 功, 田口洋一郎 野崎 中成, 松本 和浩 川崎 弘二, 居波 薫 井上 博, 大西 祐一 橋本 典也, 川本 章代 山中 武志, 吉川 一志 大島 浩, 田中 順子 富永 和也, 山本さつき 秋山 広徳, 大草 亘孝 岸本 直隆
学校法人大阪歯科大学利益相反検討委員会委員長 学校法人大阪歯科大学利益相反検討委員会委員		田中 昭男, 小正 裕 樫 則章, 亀井 崇 牧谷 弘幸 以上	H.26.4.1 付 川添 堯彬		
附属病院・専門学校経営改善委員会委員長 附属病院・専門学校経営改善委員会委員		下村錢三郎, 覚道 健治 三谷 卓, 藤野 明 上田 雅俊, 小正 裕 未瀬 一彦, 小出 武 亀井 崇, 中尾 昌彦 牧谷 弘幸, 松村 誠一 高須 聡, 齊藤 広志 東 真一郎 以上	H.26.4.1 付 藤原 眞一 田中 昭男 益野 一哉 松原 英一 津田 進 長家 秀博 上村 守 王 宝禮 田中 昭男 益野 一哉 中塚美智子 藤本 哲也 西浦 弘志 秋山 真理 西川 泰央 田中 昭男 益野 一哉 和唐 雅博 合田 征司 南部 隆之 神 光一郎 有田 憲司 田中 昭男 益野 一哉 西川 哲成 至田 宗泰 柿本 和俊 阿部 洋子 西崎 宏 山本 一世 田中 昭男 益野 一哉 辻 則正 高橋 一也 吉峰 茂樹	既卒者 指導教授 指導教授補佐 特別アドバイザー	小出 武, 田中 順子 秋山 広徳 以上
第一学年 学年指導教授 学年指導教授補佐 教育アドバイザー 助言教員		王 宝禮, 益野 一哉 李 嘉永, 松原 英一 牧田 佳真, 津田 進 岡村 英幸, 長家 秀博 藤田 淳一, 上村 守 王 宝禮 竹村 明道, 中塚美智子 岡村 友玄, 藤本 哲也 吉川 美弘, 西浦 弘志 真下 千穂, 秋山 真理	H.26.4.1 付 藤原 眞一 田中 昭男 益野 一哉 松原 英一 津田 進 長家 秀博 上村 守 王 宝禮 田中 昭男 益野 一哉 中塚美智子 藤本 哲也 西浦 弘志 秋山 真理 西川 泰央 田中 昭男 益野 一哉 和唐 雅博 合田 征司 南部 隆之 神 光一郎 有田 憲司 田中 昭男 益野 一哉 西川 哲成 至田 宗泰 柿本 和俊 阿部 洋子 西崎 宏 山本 一世 田中 昭男 益野 一哉 辻 則正 高橋 一也 吉峰 茂樹	学友会会長 学友会副会長	小出 武, 田中 順子 秋山 広徳 以上
第二学年 学年指導教授 学年指導教授補佐 教育アドバイザー 助言教員		王 宝禮, 益野 一哉 竹村 明道, 中塚美智子 岡村 友玄, 藤本 哲也 吉川 美弘, 西浦 弘志 真下 千穂, 秋山 真理	H.26.4.1 付 藤原 眞一 田中 昭男 益野 一哉 松原 英一 津田 進 長家 秀博 上村 守 王 宝禮 田中 昭男 益野 一哉 中塚美智子 藤本 哲也 西浦 弘志 秋山 真理 西川 泰央 田中 昭男 益野 一哉 和唐 雅博 合田 征司 南部 隆之 神 光一郎 有田 憲司 田中 昭男 益野 一哉 西川 哲成 至田 宗泰 柿本 和俊 阿部 洋子 西崎 宏 山本 一世 田中 昭男 益野 一哉 辻 則正 高橋 一也 吉峰 茂樹	大阪歯科大学附属病院歯科医師臨床研修プログラム 総括責任者 副総括責任者 院内研修担当者部会長 院外研修担当者部会長 保存系責任者 補綴系責任者 口腔外科系責任者 単独型プログラム責任者 複合型プログラム責任者 単独型副プログラム責任者 複合型副プログラム責任者	森田 章介, 山本 一世 梅田 誠 岡崎 定司 梅田 誠 岡崎 定司 森田 章介 前田 照太 松本 尚之 紺井 拡隆 岩田 有弘, 至田 宗泰 河野 智生, 高橋 一也 楠本 哲次, 西崎 宏 松本 和浩, 大西 祐一 護邦 英俊, 古跡 孝和 原田 京子, 加藤 裕彦 新井 是宣, 米田 護 小川 文也, 大井 治正 北野 忠則, 菊池 優子 吉川 一志, 岩田 有弘 吉田 匡宏, 至田 宗泰 民上 良将, 河野 智生 高橋 一也, 柿本 和俊 楠本 哲次, 鳥井 克典 西崎 宏, 吉峰 茂樹 松本 和浩, 大西 祐一 護邦 英俊, 古跡 孝和 原田 京子, 加藤 裕彦 新井 是宣, 小出 武 米田 護 吉川 一志, 谷本 啓彰 竹内 撰, 恩田 康平 保尾 謙三, 宮地 秀彦 吉田 匡宏, 好川 正孝 西川 郁夫, 池永 英彰
第三学年 学年指導教授 学年指導教授補佐 教育アドバイザー 助言教員		王 宝禮, 益野 一哉 乾 千珠子, 和唐 雅博 平野俊一朗, 合田 征司 天野 均, 南部 隆之 今井 弘一, 神 光一郎 有田 憲司 田中 昭男 益野 一哉 西川 哲成 至田 宗泰 柿本 和俊 阿部 洋子 西崎 宏 山本 一世 田中 昭男 益野 一哉 辻 則正 高橋 一也 吉峰 茂樹	H.26.4.1 付 藤原 眞一 田中 昭男 益野 一哉 松原 英一 津田 進 長家 秀博 上村 守 王 宝禮 田中 昭男 益野 一哉 中塚美智子 藤本 哲也 西浦 弘志 秋山 真理 西川 泰央 田中 昭男 益野 一哉 和唐 雅博 合田 征司 南部 隆之 神 光一郎 有田 憲司 田中 昭男 益野 一哉 西川 哲成 至田 宗泰 柿本 和俊 阿部 洋子 西崎 宏 山本 一世 田中 昭男 益野 一哉 辻 則正 高橋 一也 吉峰 茂樹	指導歯科医 (単独型)	岩田 有弘, 至田 宗泰 河野 智生, 高橋 一也 楠本 哲次, 西崎 宏 松本 和浩, 大西 祐一 護邦 英俊, 古跡 孝和 原田 京子, 加藤 裕彦 新井 是宣, 米田 護 小川 文也, 大井 治正 北野 忠則, 菊池 優子 吉川 一志, 岩田 有弘 吉田 匡宏, 至田 宗泰 民上 良将, 河野 智生 高橋 一也, 柿本 和俊 楠本 哲次, 鳥井 克典 西崎 宏, 吉峰 茂樹 松本 和浩, 大西 祐一 護邦 英俊, 古跡 孝和 原田 京子, 加藤 裕彦 新井 是宣, 小出 武 米田 護 吉川 一志, 谷本 啓彰 竹内 撰, 恩田 康平 保尾 謙三, 宮地 秀彦 吉田 匡宏, 好川 正孝 西川 郁夫, 池永 英彰
第四学年 学年指導教授 学年指導教授補佐 教育アドバイザー 教育アドバイザー (CBT 支援) 助言教員		岩田 有弘, 至田 宗泰 河野 智生, 柿本 和俊 有馬 良幸, 阿部 洋子 楠本 哲次, 西崎 宏 山本 一世 田中 昭男 益野 一哉 辻 則正 高橋 一也 吉峰 茂樹	H.26.4.1 付 藤原 眞一 田中 昭男 益野 一哉 松原 英一 津田 進 長家 秀博 上村 守 王 宝禮 田中 昭男 益野 一哉 中塚美智子 藤本 哲也 西浦 弘志 秋山 真理 西川 泰央 田中 昭男 益野 一哉 和唐 雅博 合田 征司 南部 隆之 神 光一郎 有田 憲司 田中 昭男 益野 一哉 西川 哲成 至田 宗泰 柿本 和俊 阿部 洋子 西崎 宏 山本 一世 田中 昭男 益野 一哉 辻 則正 高橋 一也 吉峰 茂樹	指導歯科医 (複合型)	岩田 有弘, 至田 宗泰 河野 智生, 高橋 一也 楠本 哲次, 西崎 宏 松本 和浩, 大西 祐一 護邦 英俊, 古跡 孝和 原田 京子, 加藤 裕彦 新井 是宣, 小出 武 米田 護 吉川 一志, 谷本 啓彰 竹内 撰, 恩田 康平 保尾 謙三, 宮地 秀彦 吉田 匡宏, 好川 正孝 西川 郁夫, 池永 英彰
第五学年 学年指導教授 学年指導教授補佐 教育アドバイザー 特別アドバイザー		王 宝禮, 益野 一哉 谷本 啓彰, 辻 則正 緒方智壽子, 高橋 一也 佐藤 正樹, 吉峰 茂樹	H.26.4.1 付 藤原 眞一 田中 昭男 益野 一哉 松原 英一 津田 進 長家 秀博 上村 守 王 宝禮 田中 昭男 益野 一哉 中塚美智子 藤本 哲也 西浦 弘志 秋山 真理 西川 泰央 田中 昭男 益野 一哉 和唐 雅博 合田 征司 南部 隆之 神 光一郎 有田 憲司 田中 昭男 益野 一哉 西川 哲成 至田 宗泰 柿本 和俊 阿部 洋子 西崎 宏 山本 一世 田中 昭男 益野 一哉 辻 則正 高橋 一也 吉峰 茂樹		岩田 有弘, 至田 宗泰 河野 智生, 高橋 一也 楠本 哲次, 西崎 宏 松本 和浩, 大西 祐一 護邦 英俊, 古跡 孝和 原田 京子, 加藤 裕彦 新井 是宣, 小出 武 米田 護 吉川 一志, 谷本 啓彰 竹内 撰, 恩田 康平 保尾 謙三, 宮地 秀彦 吉田 匡宏, 好川 正孝 西川 郁夫, 池永 英彰

	稲本 雄之, 辻 則正 田口洋一郎, 緒方智壽子 民上 良将, 樋口 裕一 柿本 和俊, 小野 圭昭 井上 太郎, 川本 章代 渋谷 友美, 楠 尊行 田中 昌博, 田中 順子 佐藤 正樹, 鳥井 克典 藤井 孝政, 大河 貴久 向井 憲夫, 兼平 治和 吉峰 茂樹, 山本 さつき 前田 武志, 小正 聡 坂井 大吾, 井関 富雄 吉田 博昭, 山田 耕治 田伏 信, 福田 あおい 松島 由紀, 辻 要 窪 寛仁, 蠅庭 秀也 後藤 基宏, 堀井 活子 正重 裕一, 吉本 仁 居波 薫, 板垣 恵輔 四井 資隆, 蒲生 祥子 秋山 広徳, 大東 希好 篠永ゆかり, 阿部 洋子 園本 美恵, 人見 さよ子 河合 咲希, 佐久間 泰司 岸本 直隆, 上村 直也 山田 裕, 金平 裕久美 小出 武, 米谷 裕之 辻 一起子, 辰巳 浩隆 大西 明雄, 樋口 恭子 以上 H.26.4.1 付	口腔病理学講座	前田潤一郎, 上野 眞徳 逸崎 宏, 野口 薫 山形 栄二, 田邊 順一 前田満里子, 岡村 敬次 松井 正剛, 川口 佳夫 武田 良一, 東浦 宏守 和田 聖二, 河原 康二 佐久間 勲, 筒井 淳 西村 泰典, 畑 慎太郎 堀 晋作, 田中 淳司 段 充, 川崎 昌英 山本 範子, 吉竹 弘行 松野 吉晃, 小幡 登 廣畑 顕一, 森 直樹 石原 研, 水川 健司 西川 博之, 加藤 秀治 西村 耕一, 石田 哲也 河合 高弘, 佐川 寛一 柳瀬 香, 水野 博之 藤本 幸永, 安岡 大志 堀池 周司 大草 修, 岡本 卓士 九門 好彦, 井上 博明 吉岡 三四, 宮田 敏生 坂本 伸人, 武内信二郎 高山 昭則, 河野 元一 村川 昇, 狭川 正 林 昭典, 野阪ひとみ 日高 厚, 岩本 一哉 太田 努, 野村 善一 川原 大, 三浦 康伸 森口 泰成, 上田 明博 寛 晋平, 善入 雅之 吉田 貴光 奥 忠之, 白石 雅照 野村 一夫, 尾辻 淳 藤井 由希, 中川 哲也 森野与史緒, 熊崎 眞義 村田 省三, 井上 富夫 小林 正憲, 岡村 伸江 奥村 信, 日吉 紀子 伊津 元博, 平塚 靖規 生内 信男, 高島隆太郎 西川 学, 田中 秀直 井上 昌孝, 谷 哲 南 昌宏, 藤原 秀樹 三木 秀治, 河村 昌哲 藤田 昌弘, 吉原 正晃 妻野 純朗, 廣瀬 泰明 砂田 和久, 廣瀬沙耶佳 林原 久盛, 岩本 圭司 白石 充, 大前 正範 初岡 昌憲, 鈴木康一郎 西田 尚敬 細見 環, 速水 茂 巖 恭輔, 上村 学 寺田 行男, 金村 成智 薄 孝, 逸見 浩史 木村 喜彦, 上田 佳世 辻 一郎, 吉川 伸 堀 宏之, 松田 孝之 下村 容規, 柿木 栄幸
		細菌学講座	
		薬理学講座	
		歯科理工学講座	
講師 (非常勤) 委嘱 解剖学講座	清水 孝治, 疋田 芳寛 島田 純治, 中村 雅彦 江原 雄二, 中道 哲 牧草 一人, 藤原 成樹 松川 信夫, 中辻 勇志 池 宏海, 田中 毅彦 大野久美子, 江原 大輔 安田久理人, 黒木 克哉 守下 綾香 荻田 雄紀, 山本 洋幸 松田 哲一, 椿井 孝芳 藤原 士郎, 富永 康彦 脇坂 聡, 三上 淑子 三上 博子, 朴 榮錫 黄 宏智, 松田 哲史 三上 豊, 安 春英 榎村 光仁, 長谷川 彰則 高井 規安, 小山 なつ 吉村 佳博, 岩崎 精彦 宮尾 治樹, 村上 浩孝 岩住 征紀, 森 明彦 大塚 俊裕, 田中 一弘 吉野修一郎, 辻 洋一 諏訪部 武	口腔衛生学講座	
口腔解剖学講座		歯科保存学講座	
生理学講座		口腔治療学講座	
生化学講座	長澤 成明, 畑下 芳史 高石 佳知, 小坂 広之 高屋 毅史, 中川 雅夫 伊東 禎雄, 倉阪 雅巳 有山金一郎, 岩佐 勝也 田中 義人, 天方 靖治		



歯周病学講座	藤平 智広, 加藤 侑 堀 良之 本城 範典, 神田 浩 大塚 健司, 和泉 雄一 林 正純, 英保 武志 寺西 義浩, 岡西 裕公 釜谷 晋平, 白井 健雄 中垣 直毅, 光山 誠 松田 正文, 福永 剛士 丹田 博巳, 小池 敏克 富井裕紀子, 寺田昌一郎 上田 実果, 重松 伸寛 亀水 忠茂, 山田 昭治 浅井 加雄, 伊崎 克弥 松尾 光至, 大槻 榮人 田中 球生, 原 佳代子 右遠 英悟, 額田 和門 芦田 貴司, 北山 展弘 浅井 崇嗣, 上田 章浩 氷見 彰敏, 藤岡宗之輔 岩山 和史, 西岡 良子 上杉 直斗, 亀水 忠宗 水井 雅則, 柳田 昌宏 長砂 孝, 徳永 徹 仲西 健樹, 田中 誠也 今井 敦子, 上田 直克 佐古 好正, 木村 公一 朴 康銘, 林 明輝 谷岡 款相, 疋田 陽造 鷹尾 智典, 朴 燦眞 岡崎 全宏, 橋本 睦都 藤井 隆晶	中川 学, 高橋 啓 大矢 卓志, 山田 尋士 大塚 重雄, 飯田 拓二 関 詔夫, 岡林 聰 本田 領, 蓮舎 寛樹 山本 昌宏, 荒垣 芳元 太田千佳子, 林 和男 上杉 美香, 永田 雄己 片尾 祐子, 穴戸 美香 川植 康史, 松本 義之 釜田 博史, 川崎 靖典 坂本 健吾, 林 靖久 青木 秀哲
高齢者歯科学講座	池本 博之, 石井 信行 大道 士郎, 大谷 敬三 梶本祐一郎, 嘉ノ海龍三 佐伯 克彦, 白敷 慎也 大東 美穂, 中村 弘之 瀨田 義彦, 原 直仁 松尾 博之, 山尾 雅朗 深尾 正, 中野 智子 塚本 幸子, 池尾元三朗 竹安 正治	齒科放射線学講座
有歯補綴咬合学講座	赤塚 正文, 山下 智章 足立 了平, 河合 峰雄 内海 潤, 水野 誠 姜 由紀, 釜田 隆 安留 輝之, 松田 佳子 孫 弘樹, 弘兼 素子 安東 大器, 杉岡 伸悟 徳永 敦, 大草 知佳 安東佳代子, 越沼 静 水本 一弘	小児歯科学講座
欠損歯列補綴咬合学講座	岡崎 俊朗, 梅原 久範 米田 修, 薬師寺健太郎 奥田 恵子, 宮地 理彦 原川 奈梨, 金下 祐己 森口久美子, 長野 豊	齒科麻酔学講座
口腔外科学第一講座	武田 良材, 大森 智子 平 英美 野村 孝久 高坂 友和 植村 武史 石川 昂 上野 千穂 出井 章雅	内科学講座
口腔外科学第二講座	石黒 義昭 永石 高敏 Eric Schoenbrun Bernard MacMuge 池谷 博, 高坂 友和 宮森 大輔, 植村 武史 垣内 康宏, 石川 昂 村上なおみ, 上野 千穂 出井 章雅 小芝 裕也	講座教室外 医療人のための文章表現 心理学 上級会話・リスニング ドイツ語 社会学 基礎情報科学 法医学・歯学 精神科 体育実技 基礎情報科学 美術 数学 皮膚科学 小児科学 外科学 医療統計学 物理学
歯科矯正学講座	森 淳秀 岩阪 浩志 辻 章志 坪田 優 山下 哲平 住 淳一	

生物学 兼担者	平井 悠哉	森下 裕司, 齋藤 俊文, 中辻 孝一, 林 美己, 内藤 徹	中野田紳一, 堀内 賢, 西村 元彦, 東 宗秀,	小山 和美, 武森 政文, 明崎 納, 弓場 信三
眼科学	岸本 直子			
耳鼻科	馬場 一泰			
口腔インプラント学	馬場 俊輔			
臨床直前教育	小出 武			
	以上 H.26.4.1 付		以上 H.26.4.1 付	
大学院歯学研究科		歯科衛生士専門学校講師 (非常勤)		
解剖学	江原 大輔	川合進二郎, 飯田 慈子, 中前 純治, 佐ノ木幸夫, 村上なおみ, 戸田 伊紀, 内橋 賢二, 田村 功, 隈部 俊二, 西川 哲成, 南部 隆之, 大島 浩, 神 光一郎, 覚道 健治, 辻 則正, 木村 大輔, 大郷 友規, 田中 順子, 大河 貴久, 西崎 宏, 森田 章介, 松本 尚之, 秋山 広徳, 佐久間泰司, 澤井 宏文, 辰巳 浩隆, 新井 是宣, 山下 政代, 中村 亜紀, 福井 和枝, 中塚美智子, 王 宝禮, 南部 智子, 木村 葉子, 前田留美子, 石井 美和, 阿部 洋子	岡村 英幸, 樫 則章, 石黒 義昭, 藤田 淳一, 諏訪 文彦, 上村 守, 池尾 隆, 合田 征司, 中塚美智子, 福島 久典, 大浦 清, 神原 正樹, 土居 貴士, 山本 一世, 稲本 雄之, 小正 裕, 中嶋 正博, 鳥井 克典, 岡崎 定司, 前田 武志, 松本 和浩, 有馬 良幸, 蒲生 祥子, 大久保 直, 上野 千穂, 東山 朋代, 白本 鏡子, 今西 秀明, 入江 隆子, 糸田 昌隆, 藤林由利安, 隅田 好美, 田村 照美, 小牧 圭美, 北垣 志麻, 末瀬 一彦	藤原 眞一, 李 嘉永, 谷 康平, 長家 秀博, 竹村 明道, 西川 泰央, 鎌田 愛子, 岩井 康智, 田中 昭男, 山中 武志, 野崎 中成, 川崎 弘二, 上根 昌子, 岩田 有弘, 梅田 誠, 柿本 和俊, 田中 昌博, 藤井 孝政, 坂井 大吾, 小正 聡, 松島 由紀, 清水谷公成, 篠永ゆかり, 宮前 雅見, 米谷 裕之, 馬場 俊輔, 河内 博子, 川原 幹夫, 林 正純, 福澤美智子, 方 一如, 高田橋美幸, 森田婦美子, 筒井 睦, 今西麻友美, 後藤 晶, 上野 美奈
解部学	脇坂 聡, 山根木康嗣, 国分 麻佑, 古川 智代, 多々見敏章, 亀井 真紀	細矢 明宏, 木村 彩子, 嘉藤 弘仁, 小川 歆, 井上 純一		
口腔解剖学				
病理学				
細菌学				
薬理学		中川 秀幸		
口腔衛生学	安藤 昌俊, 大橋 晶子,	西田 侑平, 深井 穂博, 柿木 栄幸		
口腔治療学				
歯周病学	能登原靖宏, 野口三智子, 吉岡 正隆, 大郷 友規, 内藤 大介, 龍田 光弘, 糸田 昌隆, 奥田 恵司, 志水 秀郎, 林 輝嘉, 姫嶋 皓大	安井 菜津希, 白石 真教, 永目 誠典, 辻本 香織		
高齢者歯科学				
有歯補綴咬合学	龍田 光弘, 糸田 昌隆, 奥田 恵司, 志水 秀郎, 林 輝嘉, 姫嶋 皓大	鶴身 暁子, 柏木 宏介, 三田 悟司, 北郷 明成, 佐野 寿哉		
欠損歯列補綴咬合学				
口腔外科学第一				
口腔外科学第二	中田 研, 飯田 征二,	野崎 正美, 室井 悠里, 氏井 庸介		
歯科矯正学				
小児歯科学	濱田吉之輔, 百田 義弘, 稲村 吉高, 大西 杏奈,	岡井 有子, 金銅 英二, 金田 一弘, 中本 杏奈,		
歯科麻酔学				
内科学		森口久美子		
口腔インプラント学	西下 直希, 以上	松沢 祐介, H.26.4.1 付		
歯科保存学	松田 有之, 以上	横田 啓太, H.26.5.1 付		
歯科技工士専門学校講師 (非常勤)	長家 秀博, 藤田 淳一, 橋本 典也, 諏訪 文彦, 上村 守, 中塚美智子, 川合進二郎, 西川 泰央, 田中 昭男, 神原 正樹, 楠本 哲次, 鳥井 克典, 佐藤 琢也, 前田 武志, 松本 尚之, 山本 一世, 森田 章介, 岸本 直隆, 王 宝禮,	村上なおみ, 吉田 隆志, 都賀谷紀宏, 竹村 明道, 岩井 康智, 飯田 慈子, 樫 則章, 内橋 賢二, 福島 久典, 田中 昌博, 佐藤 正樹, 馬場 俊輔, 岡崎 定司, 小正 裕, 飯田 拓二, 宮地 秀彦, 松島 由紀, 山下 恒彦, 高橋 恵美,	佐ノ木幸夫, 大島 浩, 山添 正稔, 戸田 伊紀, 隈部 俊二, 藤原 眞一, 李 嘉永, 池尾 隆, 円山 由郷, 田中 順子, 向井 憲夫, 山田 裕, 西崎 宏, 井上 太郎, 有田 憲司, 清水谷公成, 覚道 健治, 方 一如, 中島 賢	
			以上 H.26.4.1 付	

## || あとがき

本学の図書館には、16世紀以降に欧米で出版された歯学および医学・生物学分野の貴重図書が約100点ほど収蔵されています。購入や寄贈により収集されたこれらの貴重図書は図書館内の貴重図書室に展示されており、今回は、その中からいくつかを紹介したいと思います。

わたしたちは歯が痛くなったり、お口の中にトラブルがあるときには、今ではあたりまえのように歯医者さんに行って、安心して治療してもらえますが、このような文献から当時の歯科事情を想像してみると、昔々にはきっと今では信じられないような驚くべき治療がされていたこともあったのだらうと思います。

## 世界最初の本格的な歯科医学書

### 『歯科外科医』初版

Le chirurgien dentiste, ou Traite des dents / Fauchard, Pierre, 1728.

「近代歯科医学の父」として名高いフォシャール(1678-1761)は、フランスにおける歯科学の先駆者であり、世界で初めて歯科専門の外科医として治療院を開いたことでも有名です。

ブルターニュに生まれ、15歳で外科医として海軍に従軍、外科の基礎を学び、壊血病などの口腔疾患の治療を経験します。19歳になると、自ら造語したChirurgien-dentiste(外科歯科医)を標榜して開業し、その本格的な医術により名声を博しました。40歳でパリに進出した後、長年にわたる膨大な臨床記録を基に、歯科治療に関する知識を体系的にまとめ、出版されたのがこの『歯科外科医』です。最先端の治療を織込んだ独創的的確な内容は基礎から臨床に及んでおり、それ以前には秘術・秘法とされていた歯科治療法が初めて明らかになりました。最高の歯科医学書と称賛され、医学関係の教科書として、ドイツをはじめ欧州各地でも翻訳され、大きな影響を与えています。

本書は、歯科医学の急速な発展を促すとともに、歯科学を医学的基盤に立つ独立した存在として、その位置づけを高めるきっかけにもなったのです。

←上：フランス語版 下：ドイツ語版 ともに初版



## “噂”から始まった16世紀のユニークな論文

### 『シュレーゲン地方の子供の金の臼歯に関する考察』初版

De aureo dente maxillari pueri Silesii / Horst, Jacobi, 1595

1593年、シュレーゲン地方シュバイトニッツで、下顎に金の臼歯を持つ子供が発見されたとの噂がドイツ全域に流布しました。科学的根拠に基づくものではありませんでしたが、当時はそれについて多くの論文や小論が発表されました。ドイツの医師でユリウス大学医学教授であったホルスト(1537-1600)もそのうちの一人で、本書において、下顎に金の臼歯が生えたのは、子供の出生時における星座の位置関係による自然のおよび超自然的要素によるものだ、と解説しています。



## 各家庭における口腔疾患の手引書

### 『歯と歯肉およびその病気について』初版

A popular treatise on the teeth and gums / Winckworth, John, 1831

本書は、専門家のためではなく、各家庭における手引書となることを目的に執筆された著作で、19世紀初頭の歯学書の中でも最も珍しいもののひとつです。大英図書館にも所蔵がなく、National Union Catalogueでもわずか3か所の所蔵しか確認されていない、とても貴重な1冊です。



※ 本学所蔵の貴重書のうち45種50点については、大学ホームページに掲載しております。

今回ご紹介した4冊についても掲載されておりますので、ご興味のある方はぜひご覧ください。

>> 大阪歯科大学 貴重図書紹介 [http://www.osaka-dent.ac.jp/university/others/takara/tosho\\_16th.html](http://www.osaka-dent.ac.jp/university/others/takara/tosho_16th.html)

---

**大阪歯科大学広報 第171号**

**2014.04.01 ~ 2014.07.31**

発行日 平成26年7月31日  
編集発行 大阪歯科大学広報委員会  
〒573-1121  
枚方市楠葉花園町8-1  
TEL 072-864-3111

---